

わたしたちのまち

か み  
香美町



香美町教育委員会



## 香美町小学生のみなさんへ

「美しい山・川・海 人が躍動する 交流と共生のまち」をめざす香美町は、2003（平成17）年4月に旧香住町、村岡町、美方町の3つの町がひとつになって誕生しました。

山と海に囲まれた私たちの町は、その中を南北に流れる矢田川の清らかな水が、豊かな農産物・水産物をはぐくみ、自然を求める多くの観光客が四季を通じて訪れるすばらしい心のふるさとです。先人たちは、遠い昔から力を合わせて山野を切り拓き、田畑や海を活かして産業をおこし、生活を高めるとともに、知恵を出し、たゆみない努力と工夫を重ねながら、地域文化の創造を図り、現在の香美町の礎を築いてきました。

時代の変化により様々な課題が発生する今日、町が歩んできた歴史を大切にしながら、新しい考えや取組を取り入れ、町民の幸せや喜びにつながる町づくりが求められています。それを香美町の将来を担うみなさんにお願いたいのです。

そのために、香美町のことを深く学び、夢と希望に満ちた町の姿を描き、「ふるさと香美」を大切に思う気持ちを育ててほしいと願っています。そんな想いを込めて、この本をみなさんに届けます。

平成31年3月

香美町長 浜上 勇人

# 香美町町花

サクラ

(平成18年10月1日制定)



ブナ

(平成18年10月1日制定)



ゆうすげ

(平成18年10月1日制定)



# 香美町町木

シイ

(平成18年10月1日制定)



## 香美町町民憲章

山・川・海の美しい自然に恵まれた香美町、わたしたちは、  
この町に住むことに誇りをもち、より豊かな住みよいまち  
づくりをめざして、ここに町民憲章を制定します。

- 1, ふるさとを愛し、豊かな自然を育み、希望あふれるまち
- 1, 人々が、ここに生まれたこと、生きることを喜び、誇りに思えるまち
- 1, 子どもが元気に育ち、年よりがしあわせに暮らせるまち
- 1, 若者が多く住み、働く喜びのある豊かなまち
- 1, 歴史を学び、伝統を尊び、文化を発展させるまち

(平成19年1月1日制定)

## 香美町町民歌

作詞 駒居 瞭 作曲 池田 八声  
補作詞 志賀 大介 編曲 山田 恵範

- 1, 香り立つ山並みよ また川よ  
美しい日本海 ここにあり  
みんなで築き 和み合う  
いい笑顔 いい仲間  
いいね いいねが合言葉  
はつらつ香美町 私の町です
- 2, 夕映えも漁火も まちの灯も  
絵葉書のようなねと 旅の人  
矢田川 今日も 水清く  
いい季節 いい景色  
いいね いいねが合言葉  
ほのぼの香美町 私の町です
- 3, 幸せの歌声が 聞こえます  
温かいだんらの 窓明かり  
家族のきずな 守るまち  
いい出会い いい握手  
いいね いいねが合言葉  
いきいき香美町 私の町です  
  
いきいき香美町 私の町です

# も く じ

## 1 わたしたちのまちはどんなまち？

(1) 校区たんけんをしよう	1
・校区のようす	1
(2) わたしたちの町のようす	6
・香美町の地形と土地利用	7
・観光客がおとずれるところ	8
・香美町観光マップ	9
・みんなが利用するしせつ	10
・工場があつまるところ	13
・田や畑の多いところ	14

## 2 暮らしをささえるまちではたらく人びと

(1) 店ではたらく人びとのしごと	15
・よく行く店はどこ	15
・スーパーマーケットへ見学に行こう	16
・品物はどこから	18
・商店がいのくふうやどりよく	19
・べんりなコンビニエンスストア	22
(2) ものをつくる人びとのしごと	24
・米をつくる	24
・特産物をつくる	28
・牛を飼う	34
・服をつくる	36
・ほたるいかのしょうゆ漬けをつくる	39

## 3 昔の暮らし、見つけた

(1) 人びとの暮らしと道具	42
・うつりかわる暮らし	46
(2) 昔からつたわる行事	48
・行事が行われる場所	51
(3) これからの暮らしとわたしたちのねがい	52

## 4 健康なくらしをささえる

(1) ごみのしよりと活用	54
・くらしとごみ	54

・クリーンパーク北但	55
・かんきょうを守る	59
・クリーンパーク北但（リサイクルセンター）	60
・ごみをへらそう，生かそう大作戦	63
(2) 命とくらしをささえる水	64
・くらしと水	64
・水の旅	65
・飲み水がつくられるしくみ	66
・水のめぐみをたいせつに	68

## 5 安全なくらしをまもる

(1) なくそうこわい火事	69
・火事がおきると	69
・消防署の仕事とはたらき	71
・救急について	72
・くらしと命は自分たちの手で守ろう	73
(2) ふせごう交通事故や盗難事件	75
・交通事故を防ぐ	75
・警察のしくみと仕事について調べてみよう	77
・盗難事件をふせぐ	80
・安全を守る	81
(3) 自然災害から人々を守る	83

## 6 地域の発展につくした人

(1) へき地医りように生きた歌人 丸山修三	84
(2) 香住漁港の父 長瀬・耕作父子	87
(3) 但馬牛の祖 前田周助	90

## 7 わたしたちの住んでいる県

(1) わたしたちの県のようす	94
・香美町のある兵庫県	94
・兵庫県のすがた	95
・土地のようす	96
・人口と交通のようす	97
(2) わたしたちの県の自然や産業と人々のくらし	99
・県内の伝統工業	101
(3) 人やものでつながるわたしたちの県	102

# 1 わたしたちのまちはどんなまち？

## (1) 校区たんけんをしよう

わたしたちの校区をたんけんしてしらべ、大きな絵地図を作ろう。

### 校区のようす

わたしたちの香美町には、小学校が11校あります。また、香住区には分校が1校あります。

### 香美町の小学校

かすみく 香住区	おくさつ 奥佐津小学校、 さつ 佐津小学校、 しばやま 柴山小学校 かすみ 香住小学校、 ながい 長井小学校、 あまるべ 余部小学校（御崎分校）
むらおかく 村岡区	むらおか 村岡小学校、 うづか 兎塚小学校、 いそ 射添小学校 いずしとくべつしえん 出石特別支援学校みかた校
おじろく 小代区	おじろ 小代小学校

### ○かすみく 香住区



おくさつ  
奥佐津小学校



さつ  
佐津小学校



しばやま  
柴山小学校



かすみ  
香住小学校



ながい  
長井小学校



あまべ  
余部小学校



みさき  
御崎分校

むらおかく  
○村岡区



むらおか  
村岡小学校



うづか  
兎塚小学校



いそが  
射添小学校



いずしとくべつしえん  
出石特別支援学校みかた校

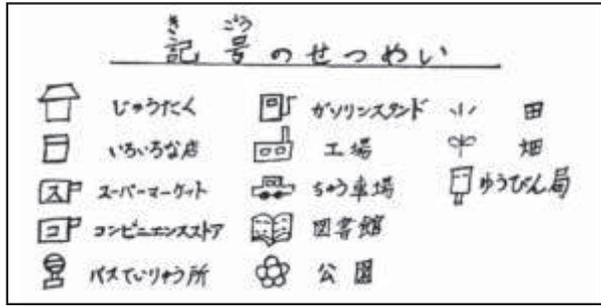
おじろく  
○小代区



おじろ  
小代小学校

絵地図ずには、学校やそのほか  
目じるしになるものをかいてお  
くとわかりやすいね。また、田  
や畑はたけなどの記号ごうをきめておくと  
べんりだね。





どうすれば校区のようすをわかりやすく  
つたえられるのかな。

※校区の様子（学習用の白地図）は、香美町小学校全校共通フォルダに入っています。

## いろいろな地図記号

	田		病院
	畑	文	小・中学校
	くだもの畑		高等学校
	茶畑	○	町役場
	ゆうびん局	卍	神社
	しょうぼうしょ	卍	寺
	けいさつしょ		港
	工場		鉄道
	おんせん温泉		橋

### 地図の作り方

- ① 絵地図の目じるしになるものを地図記号になおしましょう。
- ② 家や店など、同じものがあつまっているところを色でぬりわけましょう。  
(知っているたてものなどには文字を入れましょう。)
- ③ みんなにしょうかいしたいことや、わかったこと、ぎもんに思ったことをかきこみましょう。

## (2) わたしたちの町のようす

わたしたちの町はどんな町なのか、<sup>しら</sup>調べてみよう。



## 香美町の地形と土地利用

香美町は、日本海に面し、鉢伏山をはじめとした高い山や矢田川のような美しい川がある自然豊かな町です。

香美町の広さは、およそ369km<sup>2</sup>（平方キロメートル：1平方キロメートルは、1辺が1キロメートルの正方形の広さ）で、町としては兵庫県で一番の広さです。

香美町には、小代区、香住区、村岡区の3つの区があり、およそ18600人（2017年）の人口がくらしています。

## 土地利用状況

(km<sup>2</sup>)

総面積	田	畑	宅地	山林	原野	その他
368.77	12.22	5.90	3.57	151.32	2.67	193.09

※「その他」には国の土地、川などをふくみます。

町全体の地図を見て、つぎのことについて調べてみたいな。

わたしたちが住んでいるところ  
山、川、海、海岸のあるところ  
道路、鉄道の通っているところ  
住宅の集まっているところ  
学校やそのほかのたてものなど



観光客がおとずれるところ

わたしたちのすんでいる香美町には1年間を通じて多くの観光客がおとずれます。

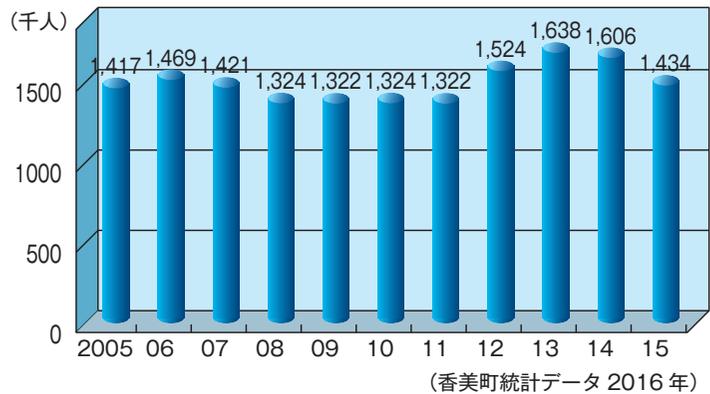


たくさんの観光客がおとずれるのは、どんなところだろう。

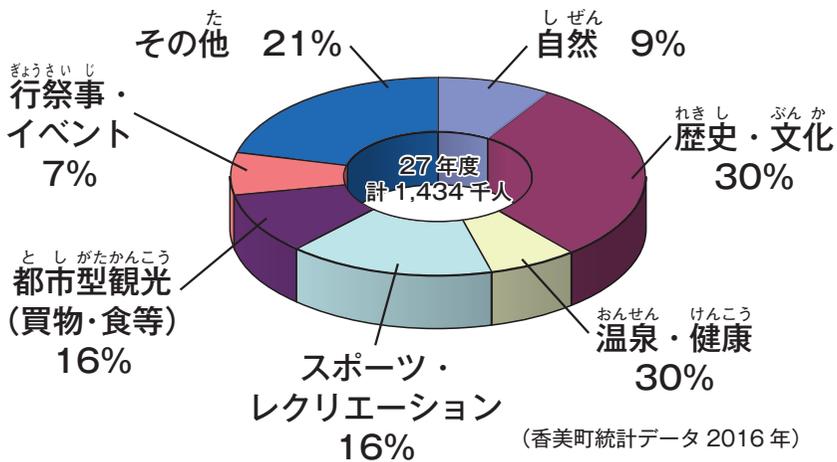


香美町の観光パンフレット

観光客の人数のうつりかわり(千人)



観光客目的別利用者数(千人)



かみ かんこう  
香美町観光マップ



## みんなが利用するしせつ

これまで生活科で学習してきたもののほかにも、わたしたちの町には、みんなが利用するためのしせつがいろいろあります。

### ○おじろく 小代区



かみ やくば おじろ ちいききょく  
①香美町役場小代地域局



ちいきれんけい  
②地域連携センター



おんせん ほ ようかん  
③温泉保養館おじろん



④おじろスキー場

かすみく  
○香住区



かみ やくば ちょう  
⑤香美町役場（本庁）



かすみびょういん  
⑥香住病院



かいよう  
⑦B&G海洋センター



かすみくちゅうおうこうみんかん  
⑧香住区中央公民館

むらおかく  
○村岡区



かみ やくば むらおか ちいきぎょく  
⑨香美町役場村岡地域局



むらおかくろうじんふくし  
⑩村岡区老人福祉センター



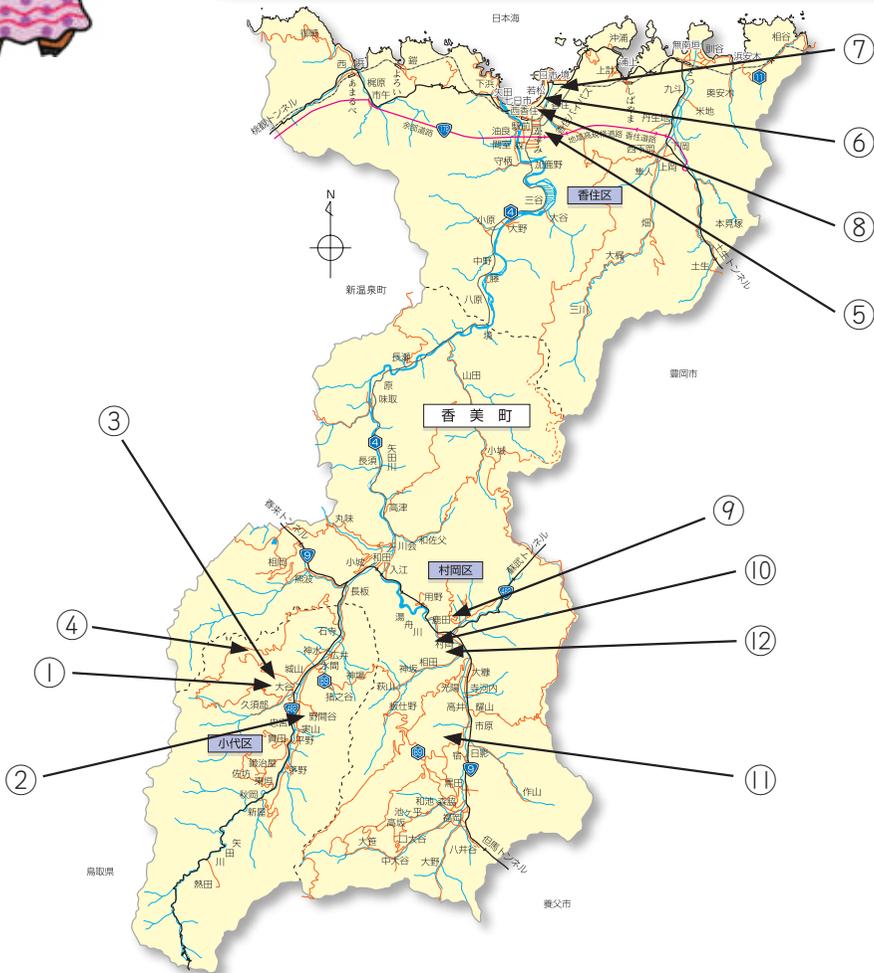
⑪ うわのやがいきょういく  
 兔和野高原野外教育センター



⑫ まほろば (民族資料館)  
 みんなぞくしりょうかん



わたしたちの町で、みんなが利用するしせつには、  
 ほかにどのようなものがあるのだろう。



## 工場があつまるどころ

工場が多くあつまっているのは、  
どんなところだろう。



工場数（区別）

区名	工場数
香住区	56
村岡区	19
小代区	9
合計	84

服をつくる工場



お酒をつくる工場

工場数（種類別）（香美町商工会2014年）

種類	工場数
食料品	46
機械	9
金ぞくせい品	9
せんい	5
木せい品	1
出版	1
ゴムせい品	2
皮せい品	0
土石せい品	5
プラスチックせい品	0
その他	6
合計	84

## 田や畑の多いところ

### 香美町の田・畑の面積 (区べつ)

区名	田 (ha)	畑 (ha)
香住区	545	254
村岡区	362	194
小代区	320	147
合計	1,227	595

(香美町役場農林水産課2017年調査)

田や畑が多いのは、どんなところだろう。



### 棚田

山や谷間のななめになった土地に、かいだん状につくられている水田を「棚田」といいます。



小代区貫田の棚田



村岡区和佐父の棚田

村岡区和佐父や小代区貫田の棚田は、『日本の棚田100選』にも選ばれているね。



## 2 暮らしをささえるまちではたらく人びと

### (1) 店ではたらく人びとのしごと

買いものに行く店で、はたらく人びとのようすをしらべてみよう。

#### よく行く店はどこ

香美町には、たくさんの店があります。これらの店の中には、食りょう品しょくりょうひんを売る店、着るものを売る店、日用品ひつようを売る店などがあって、わたしたちの暮らしに必要なものひつようを売っています。



わたしの家では、どの店へ買いものに行くことが多いのかな。

#### 買いもの調べメモ

名 前 ( )		
月／日	買い物をした店	しな 品 物
9／8	スーパーマーケット	にんじん、たまねぎ
		じゃがいも
		カレールー
9／9	近くの店	にく 肉
9／10	コンビニエンスストア	ポテトチップス

## スーパーマーケットへ見学に行こう

スーパーマーケットでは、野菜や魚などの食べものや、日用品などを売っています。たくさんの品物が、パックづめされ、きれいにならべられています。お客さんは自分で品物をえらび、レジでお金をはらって買いものをします。

スーパーマーケットで買いものをする人が多いのはなぜだろう。



スーパーマーケットのようす



セルフレジ

お客さんが、機械を使って自分で会計ができるんだよ。



きれいにならべられた品物

季節によって品物の種類がかわります。品物の並べ方にもくふうがあるのかな。



しなもの  
品物をならべる人



さしみをつくる人



データで管理かんりをする人

どんな仕事しごとをしている  
人がいるのかな。



売り場のおくではたらく人



レジのようす

いつも笑顔えがおをこころがけて  
いるそうです。

## しなもの 品物はどこから



野菜や魚は、全国各地から大阪や神戸の中央おろし売り市場にとどき、そこで仕入れます。豊岡のおろし売り市場からも仕入れます。着るものや日用品は、全国の間屋から仕入れます。外国の食品も食卓に並ぶことが多くなりました。

## しなもの 品物が店にとどくまで

毎日決まった時間に、品物がはこばれてきます。



### かいしゅう 回収ボックス



店の外には、トレーや牛にゆうパック、ペットボトルなどをあつめる箱がありました。わたしたちにも、ごみをへらすためにきょうりよく協力できることがあるんだね。

## 商店がいのくふうやどりよく

香美町内の区には、商店がいがあります。小代区の大谷商店がいには、着るものや電気せい品など、せんもの品物しなものを売る店があります。お客さんは、店の人とそうだしながら品物しなものを買うことができます。



商店がいには、どんな店があるのかな。

## 商店がいのようす



大谷商店がい



着るものを売る店



文ぼう具を売る店

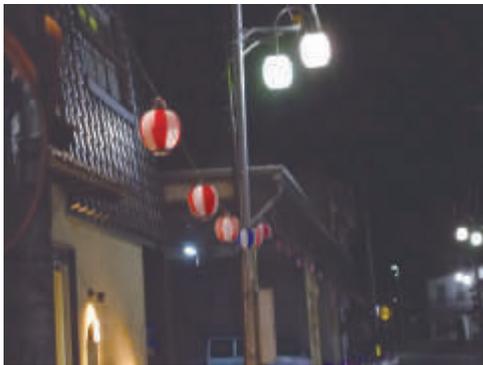


電気せい品ひんを売る店

小代区の大谷商店がいにある食料品  
 を売る店では、商品しょうひんを売るだけでなく、  
 お客きゃくさんのいこいの場となるように考え  
 ています。大きなスーパーに行く人が増  
 えて店つづを続けるのもたいへんですが、店  
 に来るのを楽しみにしている人のために



も、いすおを置き、休憩きゅうけいスペースを作るなどのくふうをしてお客きゃくさんに喜よろこんで  
 もらっています。



夜になると、街路灯がいろとうがともし  
 ます。防犯ぼうはんのために商店がい  
 の人たちがつけました。

商店がいの人たちは、町の人たちが、楽しく買いものできるように、いろ  
 いろなよおしものをしています。



夏まつりじつこう いんかいは実行委員会  
 の人けいかくが計画し、地ち域の人  
 に楽しんでもらえるよう  
 にいろいろなイベントを  
 行っているよ！

手作りのとちもちが、  
一番の人気です。



オジレンジャーも  
登場して祭りを盛り  
上げます。

## 商店がいの人のお話

大谷商店がいにはいろいろな店がありましたが、最近はずいぶんへってしまいました。

わたしたちが、一番大切にしていることは、町の人たちとのつながりです。とくに、お年よりの方がふえてきたので、ひつような品物がひつような方にとどくように、気をつけています。近くの町のスーパーマーケットに買いものに行く人もいて、お客さんの数はへりましたが、商店がいに来てくれる人とのつながりを大切にしていきたいと思っています。

## べんりなコンビニエンスストア

香美町には、24時間営業のコンビニエンスストアがあります。大きな道路ぞいにあたり、いろいろな品物があたりしてとてもべんりです。

大きな駐車場もあり、大型トラックやバスも止まることができます。

どんな人が、コンビニエンスストアで買いものをしているのかな。



コンビニエンスストアには、いろいろな種類のお弁当やお惣菜が売られています。仕事に行く人やお出かけ途中の家族づれなど、朝早くからたくさんの人が来ています。



買ったものを食べたり飲  
んだりするコーナーもあり  
ます！

あたた  
の  
温かい飲み物もあります。い  
ろいろな食べ物があって、とて  
もおいしそう！！



コンビニエンスストアでは、品物しなものを買う以外にも、いろいろなことが  
できます。

お金をおろしたり、コンサートや遊園地ゆうえんちのチケットを買ったりできる  
機械きかいもあります。荷物にもつの受け取りやお金の支払いしはらいもでき、これらのサー  
ビスりようを利用する人も年々ふえています。

## (2) ものをつくる人びとのしごと

### 米をつくる

いちめん広がった田が目に入りました。町内には、このように米をつくっているところがたくさんあります。

むらおか く おおぬか 村岡区大糠にある えいのう 営農生活センターで話を聞くと、「ここでつくられている米は、あじ ひん 味も品しつもとよいとひょうばんです。」ということでした。



しゅうかく前の田のようす

米はどのようにしてつくられるのかしらべてみよう。

### 米ができるまで



一番はじめにするのは、たね 種もみから め 芽を出させるしごとです。なえ そだ 苗を育てるときには、おんど 温度を いってい 一定にたもったり、日にちがたつと ばしよ 場所をかえたりするなど、いろいろなくふう 工夫をしています。とくにこわい びょうき 病気は、なえ 苗にかびがついてかれてしまう びょうき 病気だそうです。

「<sup>いくびょう</sup>育苗センター」で<sup>そだ</sup>育つ<sup>なえ</sup>苗

やく20度の水に5日間つけると、<sup>め</sup>芽が出ます。



<sup>たね</sup>種 ま き



〈やく1cm〉

37度の<sup>おんしつ</sup>温室で  
3日間<sup>お</sup>置きます。



〈やく3cm〉

3日間日光に当  
てて、<sup>なえ</sup>苗を緑色  
にします。



〈やく10cm〉

14日間かけて<sup>なえ</sup>苗  
を高くします。  
<sup>なえ</sup>苗のじゅんぴがで  
きました。



苗なえはそれぞれの田へ運ばれます。田では、もう田うえの  
じゅんびができています。これから、秋のしゅうかくまで、  
どのようなしごとがあるのでしょうか。



田うえ



あらおこし・しろかき

農家のうかの人は、田うえから  
いねかりまでの間、草取り  
や水のかんりなどのしごと  
をします。しゅうかくした  
米は、神戸こうべや大阪おおさかをはじめ、  
いろいろな所しゅうかに出荷されて  
います。

草取り



毎朝毎ばんの  
水のかんり

いねのてんけん

くすりをまく

いねかり



そう庫こには、たくさんの米  
が出荷しゅうかをまっています。



## 米づくりのくろうやくふう



米づくりをしていて、心配することやくろう  
することは何だろう。

センターに集められたお米は、資格をもった検査員が品質チェックをします。お米の色や水分量などを調べて等級を決めていきます。年によってとれる量が変わったり、気温の変化で品質が変わったりするのでたいへんな時もありますが、安全でおいしいお米を出荷できるようにていねいに検査しています。



最近<sup>さいきん</sup>は農業<sup>のうぎょう</sup>やお米作りをする人が減<sup>へ</sup>ってきています。そのため、農業<sup>のうぎょう</sup>やお米作りをもっといろいろな人に知<sup>し</sup>ってもらうために、田んぼの生き物の観<sup>かん</sup>察<sup>さつ</sup>会<sup>かい</sup>や田植<sup>いね</sup>えや稲刈<sup>たいけん</sup>りが体<sup>こ</sup>験<sup>うりゆう</sup>で<sup>かい</sup>きる交<sup>さま</sup>流<sup>ま</sup>会<sup>かつどう</sup>など様<sup>さま</sup>々<sup>ま</sup>な活<sup>かつ</sup>動<sup>どう</sup>が行<sup>か</sup>わ<sup>れ</sup>ていま<sup>い</sup>ま<sup>ま</sup>す。

## とくさんぶつ 特産物をつくる

### なし 梨のさいばい

1925年（大正14年），香住区  
矢田の山地で「長十郎梨」をさいばい  
したのが，香住での梨づくりのはじまり  
であったと言われています。今では，こ  
こでつくられている「二十世紀梨」が，  
兵庫県の特産物の一つとして広く知られ  
るまでになっています。



あまくておいしい梨をつくるために，ちがう品種の木のえだを「つぎ  
木」します。梨農家の中には，「つぎ木」の研究をしながら，梨をつくるし  
ごとをしている人もいます。



「つぎ木」はどの  
ようにするのか。



おいしい<sup>なし</sup>梨をつくるために、どのような  
しごとをしているのかしらべてみよう。

なし  
梨づくりの1年

前の年の11月

実がつきやすくする  
ためにえだを切ります。



4月中ごろ

めしべに<sup>じんこうき</sup>人工的に  
花ふんをつけます。



5月～6月

害虫から<sup>まも</sup>守るために  
ふくろかけを2回します。



8月～9月

一つ一つていねいに  
<sup>なし</sup>梨をしゅうかくします。





なし  
梨づくりをしていてくろうすることは、  
どんなことだろう。

右のしゃしんは、しゅうかく前の<sup>なし</sup>梨が  
台風によってひがいをうけたものです。  
<sup>かすみくしものはま</sup>香住区下浜でむかしから<sup>なし</sup>梨をつくってい  
るおじさんに話を聞きました。



### おじさんのお話

<sup>なし</sup>梨をしゅうかくするまでには、いろ  
いろくろうすることがあります。広い  
<sup>なしばたけ</sup>梨畑の草かりをしたり、川原からたく  
さんのしき草を運んだりします。雨が  
ふらない日が続くと、パイプをつない  
で水をまくしごともします。夏の暑い  
じきですから、たいへんつかれます。



草かりのしごと

また、<sup>しんばい</sup>心配することもあります。冬に雪の<sup>おも</sup>重みで木のえだがおれたり、  
<sup>そだ</sup>育った実をカラスに食べられたりすることがあります。台風のために  
しゅうかく前の実が<sup>お</sup>落ちてしまい、1年間のくろうがむだになることも  
あります。しかし、どんな時でも、できるだけ被害が<sup>ひがい</sup>少なく  
なるようにくふうをしています。



## スッポンとチョウザメの養殖

「町の特産物をつくろう」と8人の有志が集まりました。はじめに試みたのがスッポンの養殖です。そして1995年（平成7年）からはチョウザメの養殖にも力を入れています。

スッポンとチョウザメの養殖は、どのようにおこなわれているのかしらべてみよう。

### スッポンの養殖



スッポンの養殖は、1975年（昭和50年）から、町のえんじょをうけながら続けています。ここでは、1年間におよそ1000個の卵がふ化します。

生まれたばかりのスッポンを地域の人にも飼ってもらっているんだって！



ふ化させる設備

おじさんたちは、<sup>しずおか</sup>静岡、<sup>きゅうしゅう</sup>九州、<sup>とっとり</sup>鳥取  
などに見学に行ったり、<sup>しりょう</sup>資料を取りよ  
せたりして<sup>けんきゅう</sup>研究したそうです。しかし  
仕事はなかなかうまくいかず、たいへ  
んくろうしました。<sup>おんせん</sup>温泉水に入れたと  
ころ<sup>びょうき</sup>病気にかかってしまったり、外の  
池に入れると<sup>さむ</sup>寒さのため死んでしまったりする  
こともありました。それでも、  
おじさんたちはあきらめませんでした。



そして、<sup>ようしよく</sup>養殖をはじめてから5年目、ついに町内のりょうり店に<sup>しゅつか</sup>出荷する  
ことができたそうです。今では、自信をもって<sup>しごと</sup>仕事をしています。<sup>たまご</sup>卵のふ化  
が少なかったり、えさ代が<sup>ねあ</sup>値上がりしたりして<sup>たいへん</sup>大変なこともあります。地  
元の<sup>さんぎょう</sup>産業を守り、<sup>ちいき</sup>地域に元気になってもらうためにも力を合わせてがんばっ  
ています。



<sup>おんせん</sup>温泉の湯が流れる水そう  
冬は<sup>おんせん</sup>温泉を使って<sup>ひつよう</sup>必要な<sup>おんど</sup>温度  
を<sup>たも</sup>保ちます。

しっばいにしっばいを<sup>かさ</sup>重ね  
て、力を合わせてがんばって  
いるんだね。すばらしいね。



## チョウザメの養殖<sup>ようしよく</sup>

稚魚<sup>ちぎよ</sup>をやく3000匹<sup>びき</sup>買って<sup>そだ</sup>育てて  
きましたが、2005年（平成17  
年）になってはじめて産卵<sup>さんらん</sup>にせいこう  
しました。今では、卵<sup>たまご</sup>をキャビアとし  
て、肉<sup>にく</sup>とともに出荷<sup>しゅつか</sup>しています。



チョウザメの養殖場<sup>ようしよく</sup>



### 大きく<sup>そだ</sup>育ったチョウザメ

1年で約1キログラムずつ大  
きくなり、20キロをこえるも  
のもいます。



チョウザメの稚魚<sup>ちぎよ</sup>  
6センチくらい

地元<sup>しよく</sup>の高校からも飼育のしかたや  
卵<sup>たまご</sup>のとり方を学びに来るんだって。



ビン詰<sup>つ</sup>めのキャビア



## 牛を飼う

香美町は、全国でも知られている但馬牛を育てている町です。牛を飼っている家では、どのようなしごとをしているのでしょうか。



牛を飼うしごとには、どのようなことがあるのかしらべてみよう。

毎日きまった時こくに牛舎ぎゅうしゃに行き、牛にえさをやったり、牛舎ぎゅうしゃのそうじをしたりします。牛が病気びょうきにかかっていないかどうかをかんさつするのもたいせつなしごとです。



牛の赤ちゃんは、人間と同じように産まれてきます。赤ちゃんが産まれそうなときは、いつも以上に気をつけて牛の様子を見守ります。産まれたばかりの子牛は、25キログラムぐらいです。大人になると大きいもので700～800キログラムにもなるそうです。

夏から秋にかけて、牛をぼく草地で生活させます。しぜんの中で、歩きまわったりえさを食べたりして、気もちよさそうです。



牛のほうぼく



牛の市場

育てた牛は、せりにかけられ売られています。心をこめて育てた牛に高い値がついて売れるとうれしいです。

香美町で育てる牛はとても品質がいいので、全国各地で行われている牛のコンクールにも、たくさん出場しています。

### 牛を育てている人のお話

質のよい元気な牛を育てるためには、いろいろなくふうが必要です。一番しんぱいなのは大切な牛が病気になることです。そこで、病にならない強い牛を育てるために、えさをくふうしたり、牛のためにより環境づくりをしたり、日々研究を続けています。毎日様子を観察し、目をかけ声をかけながら大切に世話を続けています。

少しずつ販売する地域も広がり、海外への輸出も計画されているそうです。おいしいお肉が世界のいろいろな国で食べられるようになるとうれしいですね。



## 服をつくる

国道9号線ぞいにスポーツウエアなどをつくる工場があります。そこでは、きかいを使ってしごとをしている人やコンピュータをそうさしている人がいます。

服はどのようにつくられるのかしらべてみよう。



プロ野球のユニフォーム



防寒着

工場で作られて  
いるせい品



乗馬用ベスト

この工場には、有名なプロ野球せん手やオリンピックのせん手からも注文がきます。それぞれのせん手のきぼうにこたえる品物をつくることで、多くのせん手からしんらいされ、注文もふえてきています。

# 服ができるまで

げんりょう  
原料を仕入れる



ふく  
服の形に切る



ぬい合わせる



せいひん  
製品のけんさ



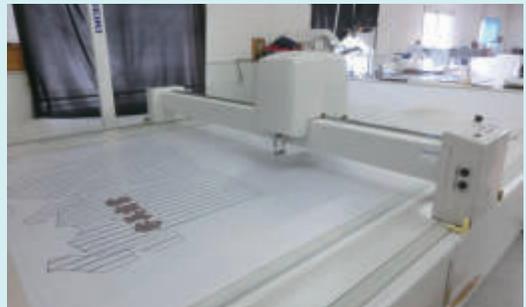
せいひん しあ  
製品の仕上げ



しゅつ か  
出荷



コンピュータで注文を受けたり、  
デザインを決めたりします。



ぬの 布を切る機械。複雑な形や特殊な  
ぬのじ 布地の時はハサミも使います。



せいひん  
製品ができあがりました。

に  
荷づくりされた製品はトラック  
につまれ、各地の倉庫やお店に運  
ばれます。

工場は国道ぞいにあり、原料げんりょうやせい品ひんのゆそうにべんりです。はたらいて  
いる人は、香美町かみすに住んでいる人がほとんどで、豊岡市とよおかや新温泉町しんおんせんから通っ  
ている人もいます。

工場の中に入り、工場長さんに話を聞きました。

## 工場長さんのお話

わたしたちの工場は、はたらいている人のすばらしい技術ぎじゆつによって  
ささえられています。昔は手作業むかし て さぎょうが多かった工場に、コンピュータや機  
械かいが入りましたが、それらを使うのは、はたらいている人です。細かい  
作業さぎょうを速く正確はや せいかくにすすめていくようすは、まさに職人しよくにんのわざです。そし  
て、はたらいている人も自分の仕事しごとにほこりをもっています。

また、少ない数や急ぎの注文いそ ちゅうもんなど  
にも対応たいおうできるのが、この工場のよ  
いところでは。これからも、町内の  
工場として、お客さんのきたいにこ  
たえられるように、がんばってい  
きたいと思っています。



## ほたるいかのしょうゆ漬けをつくる

香美町には、香住港や柴山港を中心に6つの港があります。港には、アジ、カレイ、イカ、カニなどをとる漁船がつながられています。また、港の近くには、市場やいろいろな工場があり、たくさんの方がはたらいています。

香住港の近くにあるほたるいかの工場を見学しました。

ほたるいかのしょうゆ漬けはどのようにしてつくられているのか  
しらべてみよう。

ほたるいかのしょうゆ漬けができるまで



この工場で  
1番売れている  
しょうゆ漬け  
商品だよ。



ざいりょう  
材料を買う



いぶつ  
異物を取り除く



あじ  
味つけをする



いろいろな検査を  
しているから安心して  
食べられるね。



検査をする



容器につめる

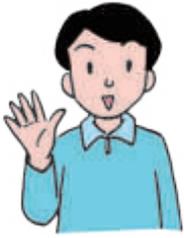


一つ一つ丁寧に  
仕上げていますね。



出荷する





ほたるいカ工場では、よい商品しょうひんをつくるために  
どのような工夫くふうや努力どりょくをしているのだろう。

### 工場長さんのお話

わたしたちは、おいしくて安心あんしんな品物しなものをたくさんつくって、全国ぜんこくの多くの人に食べてもらいたいと思っています。お客さんきやくによろこんでもらえるように味あじや量りょうを工夫くふうしたりしています。

そのために、次のようなことに気をつけています。

- ・作業中さぎょうは手ぶくろとマスクをして、何なん度も手洗てあらいをします。
- ・作業中さぎょう、品物しなものの中にごみなどが入らないように気をつけます。

そのほかにも、品物しなもののよさを知ってもらうためにパンフレットを作ったり、ホームページにのせたりしています。また、インターネットを使って、遠くすに住んでいるお客さんきやくにも買っていただけるようにしています。

町内には、そのほかにもたくさんの工場があります。どんな品物しなものをどのようにしてつくっているのか調しらべてみよう。



### 3 <sup>むかし</sup>昔の暮らし，見つけた

#### (1) 人びとの暮らしと道具

<sup>むかし</sup>昔使っていた道具を持ちよって，<sup>しらす</sup>そのころの暮らしについて調べてみよう。

おばあさんや，おじいさんに話を聞いて，<sup>むかし</sup>昔使っていた道具をかしてもらうことにしました。



わらぐつ

雪道には，かかせない  
はきものでした。



かんじき



やなぎごおり

にぎりめしを入れ，  
お茶を持って，田ん  
ぼに出ました。



ブリキの水とう



炭火アイロン

電気は，家の明かりに  
使うのがやっとでした。



かべかけ電話<sup>わ</sup>

みんなで話し合っていると、もっとくわしく聞いてみたくなりました。そこで、家族に話を聞くだけでなく、昔のことにくわしい地域の方をおまねきしてお話を聞く計画を立てました。

- ・会のプログラムを決める。
- ・おまねきする手紙を書く。
- ・メモをとり、質問をする。
- ・お礼の手紙を書く。

むかし  
昔の遊びも教えて  
ほしいな。



### おばあさんのお話

台所は土間になっていて、かまどでまきをもやして、ごはんをたいていました。料理に使う水は、井戸水をポンプでくみあげました。

朝早く浜に出る両親のかわりに弟たちの子もりをしながら、お手玉やまりつきをして遊ぶのが楽しみでした。



かまど

### おじいさんのお話

戦争が終わったころは、ごはんのかわりにいもや野菜を食べていました。たまごや肉はごちそうでした。冬場、父は、お酒をつくる出かせぎに行き、母や兄は、牛の世話や畑仕事をして、年中休みなく働いていました。わたしもまきをひろいに行きました。

そのほか、いろいろな話を聞きました。

- ・学校の勉強
- ・着る物き
- ・食べもの
- ・家のようす
- ・遊び
- ・水くみ
- ・旅行りょこう
- ・子どもの仕事しごと
- ・お金
- ・戦争せんそう
- ・大雪のこと

戦争せんそうのころの写真を見せてもらったよ。  
そのころはどんなくらしをしていたのかな。



外でも授業じゅぎょう



二人で使う机つくえ



剣道けんどう・なぎなた



慰問袋いもんぶくろを送るおく



線路せんろを道がわりにする



食料増産しょくりょうぞうさん

かみ 香美町には、むかし 昔のことがいろいろしら 調べられるしりょうかん 資料館があるよ。



民族資料館「まほろば」・・・村岡区

海の文化館・・・香住区

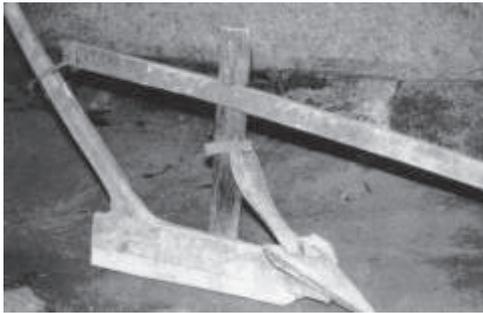
地域連携センター・・・小代区



さおばかり



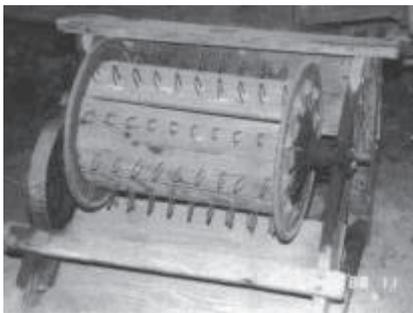
ちくおんき  
蓄音機



すき



せんばこき



いねこき  
あしふしきだっこき  
(足踏み式脱穀機)



あんか (だんぼう  
暖房)

# うつりかわるくらし



しらべたことを年表にあらわしてみよう。  
年表にすると、どんなことがわかるかな。

時代	年代	くらしと道具	おもなできごとやそのようす	
大正	1912年		<ul style="list-style-type: none"> <li>余部鉄橋が完成する。</li> <li>山陰本線が開通する。</li> </ul>	
	1925		<ul style="list-style-type: none"> <li>北但地方に大地震がおきる。</li> <li>このころから各校ともランプから電灯にかわる。</li> </ul>	
昭和	1930		<ul style="list-style-type: none"> <li>このころ、どの学校にも電話がつく。</li> </ul>	
	1941		<ul style="list-style-type: none"> <li>太平洋戦争がはじまる。</li> </ul>	
	1945		<ul style="list-style-type: none"> <li>太平洋戦争が終わる。</li> </ul>	
	1955		<ul style="list-style-type: none"> <li>このころ公衆電話が多くおかれる。</li> </ul>	
	1957		<ul style="list-style-type: none"> <li>国道9号線の改修工事が始まる。</li> <li>テレビが広まる。</li> </ul>	
	1959		<ul style="list-style-type: none"> <li>伊勢湾台風で大きな被害が出る。</li> </ul>	
	1963		<ul style="list-style-type: none"> <li>38豪雪で大きな被害が出る。</li> </ul>	
	1965			<ul style="list-style-type: none"> <li>但馬トンネルが開通する。</li> </ul>
	1968			<ul style="list-style-type: none"> <li>兎野高原野外教育センターがオープンする。</li> </ul>
	1975			<ul style="list-style-type: none"> <li>春來トンネルが開通する。</li> </ul>
	1980		<ul style="list-style-type: none"> <li>美方郡広域消防署ができる。</li> </ul>	

時代	年代	くらしと道具	おもなできごとやそのようす
平成	1985		<ul style="list-style-type: none"> <li>香住中央公民館ができる。</li> </ul>
	1990		<ul style="list-style-type: none"> <li>台風19号で矢田川に大きな被害が出る。</li> </ul>
	1994		<ul style="list-style-type: none"> <li>「矢田川レインボー」が完成する。</li> </ul>
	1995		<ul style="list-style-type: none"> <li>阪神・淡路大震災がおこる。</li> </ul>
	1997		<ul style="list-style-type: none"> <li>このころ携帯電話が広まる。</li> </ul>
	2003年		<ul style="list-style-type: none"> <li>蘇武トンネルが開通する。</li> </ul>
	2005		<ul style="list-style-type: none"> <li>美方町、村岡町及び香住町の3町が合併して香美町が誕生する。</li> </ul>
	2006		<ul style="list-style-type: none"> <li>小代健康公園がオープンする。</li> </ul>
	2007		<ul style="list-style-type: none"> <li>国道482号「長板バイパス」が開通する。</li> </ul>
	2008		<ul style="list-style-type: none"> <li>しおかぜ香苑がオープンする。</li> </ul>
	2009		<ul style="list-style-type: none"> <li>第1回香住ガニ祭りが開催される。</li> </ul>
	2010		<ul style="list-style-type: none"> <li>新「余部橋梁」が完成する。</li> <li>山陰海岸ジオパークが世界ジオパークネットに加盟する。</li> <li>山陰近畿自動車道「余部道路」が開通する。</li> </ul>
	2011		<ul style="list-style-type: none"> <li>香美町版ジオパークキャラクター「ジオンくん」が誕生する。</li> </ul>
2013		<ul style="list-style-type: none"> <li>余部鉄橋「空の駅」展望施設がオープンする。</li> </ul>	
2014		<ul style="list-style-type: none"> <li>「香美町魚食の普及の促進に関する条例（とと条例）」が作られる。</li> </ul>	

## (2) 昔むかしからつたわるぎょうじ行事

香美町かみにつたわるぎょうじ行事をしらべてみよう。

# ももてぎしき 百手の儀式

かすみくあまるべみさきく  
(香住区余部 御崎地区)

毎年 1月28日



袴かみしもすがたの射手しゃしゅ3人が、「ひかえー、ひかえー、わきによれ」という声を上げながら平内神社へいないじんじやへと歩くことから始まります。

3人が、敵てきの源氏げんじに見立てたまと的に向かって、101本の矢を次々に放ちます。

### おじさんのお話

御崎地区みさきくには、1185年の「壇ノ浦の戦いだんのうらたたか」で、源氏げんじに敗れた平家の武将7人が流れ着き、かくれ住んだという言いつたえがあります。敵である源氏げんじがいつおそってきても戦えるように、矢を打つ練習しゅうかきを重ねてきたことから「百手の儀式ももてぎしき」が始まりました。



今は、作物が豊ゆたかに実ることを祈いのって行われているんだね。

か わ い げ い  
川会芸おどり

むらおかく かわい  
(村岡区 川会)

毎年 お盆



さむらい むすめ いしやう きて おんど  
侍や娘の衣装を着て、音頭に  
合わせておどります。

### ほぞん会の人のお話

めいじじだい  
明治時代のはじめごろのある夏、雨が<sup>まった</sup>全くふらなかったため、作物が  
そだたなくてこまっていました。そこで、地区のわか<sup>もの</sup>者が雨ごいのお祈  
りをしながら、おんど  
音頭に合わせておどり始めると、なんと雨がふってきた  
のです。

それ以来、<sup>ぼん</sup>盆おどりと、<sup>げい</sup>芸おどりをするようになりました。

く <sup>ぼん</sup>  
地区での盆おどりのほかに、いろ  
いろなイベントや<sup>ろうじん</sup>老人ホームなどでお  
どりをひろうしているそうだよ。



# 百万びょう(遍)

(小代区 広井)

毎年 1月16日ごろ

数取り札



数珠をまわしている様子



大数珠

観音堂の中央の大きないろりにたき火をし、その周りにすわって、長さが16メートルもある大きな数珠を回します。かねを3拍子でたたく人や、数取り札で回した数をかぞえる人もいます。一日中かかって、数珠を回しながら「南無阿弥陀仏」をくり返しとなえます。

## おばあさんのお話

「百万びょう」とは、百万回数珠を回すという意味があります。明治時代よりももっと昔から、どの地域でも行われていました。今も、小代の広井地区をはじめ、周辺の地区でも行われています。

作物が豊かに実るよう、また、病気や災害にあわないようにというねがいをこめて行われています。

ぎょうじ ぼしよ  
行事がおこなわれる場所

ももて ぎしき  
百手の儀式

百万びょう

かわいげい  
川会芸おどり



ぼくが<sup>す</sup>住んでいる<sup>く</sup>地区にも、  
むかし  
昔からのこっているまつりや  
ぎょうじ  
行事があるよ。  
くわしく<sup>しら</sup>調べてみたいな。

### (3) これからのくらしとわたしたちのねがい

このまち，大すき！

わたしたちのまちは，これからどのように  
かわっていくのだろう。

わたしたちの香美町は，2005年（平成17年）4月1日に，香住・村岡・美方の3つの町が1つになってできました。

まちに住む人びとは，それぞれの地域のよさを大切にしながら，よりよいまちにしていこうと努力しています。

これまで，まちで出会った人たちや見学したところを思い出して，学習をふりかえってみましょう。



校区やまちのよ  
うすについて，く  
わしく調べたね。

くらしをよくす  
るための仕事があ  
ったね。



まちの人たちは，  
いろいろなねがい  
をもっていたね。

昔のくらしを学  
習して，今の生活  
について考えたね。



これからの自分たちのまちをどのようにしていくのがよいか、考えを出し合い、話し合ってみよう。



美しい自然を大切にしていきたいね。



生きがいをもって仕事ができるまちにしたいね。



人にやさしく、安心してくらせるまちにしたいね。

いろいろなねがいをどうすれば実現できるか、もっと考えていきたいな。



## 4 <sup>けんこう</sup>健康なくらしをささえる

### (1) ごみのしよりと活用

#### くらしとごみ



わたしたちの家からは、どんなごみがどれくらい出ているのか、  
しらべてみよう。

自分たちの家から出るごみの種類と量を、1週間にわたって調べてみましょう。そして、調べたことと町のごみカレンダーとを見くらべて、話し合ってみましょう。

# 香美町ごみカレンダー

平成30年 3月

日	月	火	水	木	金	土
🍀	🍀	🍀	🍀	1 プラスチック製 容器包装	2 燃やす ごみ	3
4	5 古紙類	6 燃やす ごみ	7 カン・ビン 乾電池	8 プラスチック製 容器包装	9 燃やす ごみ	10
11	12 燃やす ごみ	13 粗大ごみ 蛍光灯	14 ペット ボトル	15 プラスチック製 容器包装	16 燃やす ごみ	17
18	19 燃やす ごみ	20 カン・ビン	21 春分の日	22 プラスチック製 容器包装	23 燃やす ごみ	24
25	26 燃やす ごみ	27 燃やさない ごみ	28 紙製容器 包装	29	30 燃やす ごみ	31

【ごみの出し方について】 ※詳しくは『ごみの分け方・出し方ハンドブック』をご覧ください。

☆資源の節約・ごみの適正処理のため、ごみの分別にご協力ください。

☆朝8時までに、ごみステーション（「古紙類」は各区（自治会）で決められた集積場所）に出してください。

☆指定袋を使用し、決められた収集日に出してください。

☆ごみ袋には記名（フルネーム）してください。

☆スプレー缶やカセットボンベは、必ず中身を使い切り、穴を開けて「カン・ビン」に出してください。

☆ライターは、必ず中身を使い切り、「燃やさないごみ」に出してください。

☆刃物・工具類は、新聞紙等に包んで、中身を表記した上で、中身の見える任意の袋に名前を書いて「燃やさないごみ」に出してください。

☆乾電池類は中身の見える（透明又は半透明の）任意の袋に名前を書いて「乾電池」に出してください。

☆1辺20cmを超えるカン、切り離れた缶詰などのカンのフタは、「燃やさないごみ」に出してください。

## クリーンパーク北但

ごみは、どのようにして集められ、しゅりされているのだろう。  
ごみステーションや収集のようすを見学してみよう。

わたしたちの家で出たごみは、決められた日に、決められた場所へ、もえるごみともえないごみに分けて出しています。これらのごみは、パッカー車で集められ、豊岡市竹野町にあるクリーンパーク北但へ運ばれていきます。クリーンパーク北但は、香美町、豊岡市、新温泉町で組織された北但行政事務組合が建てた施設で、2016年からごみのしゅりをおこなっています。世界でも最新のごみしゅり技術がある施設です。



ごみステーション



パッカー車



クリーンパーク北但

まちがった出し  
方のごみがまじっ  
ていたら、どうす  
るのかな。



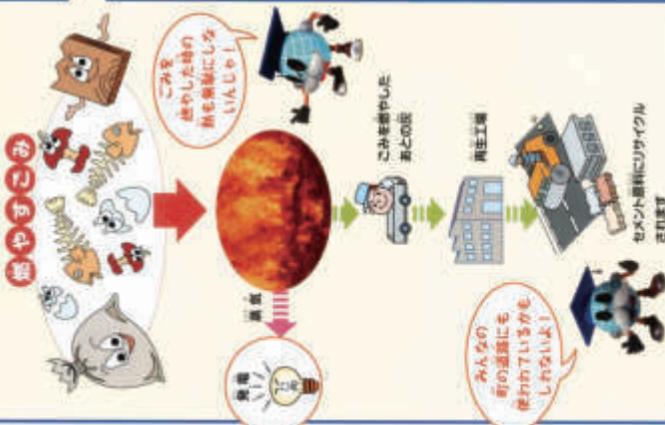


# みんなのクリーンパーク北但は、こんな施設じゃ

クリーンパーク北但は、蓮田市・香美町・新滝原町の1市2町の  
 燃やすごみと資源ごみを処理する施設です。  
 また資源と環境の大切さを学ぶことができる、環境学習設備が  
 あります。

## クリーンセンター

クリーンセンターは、燃やすごみを処理し、その時に発生  
 した熱を発電に有効利用しています。



## 学ぶ

「ごみ」を通じて資源と環境の  
 大切さを学ぶ



ここで  
 勉強について  
 学ぶんじや

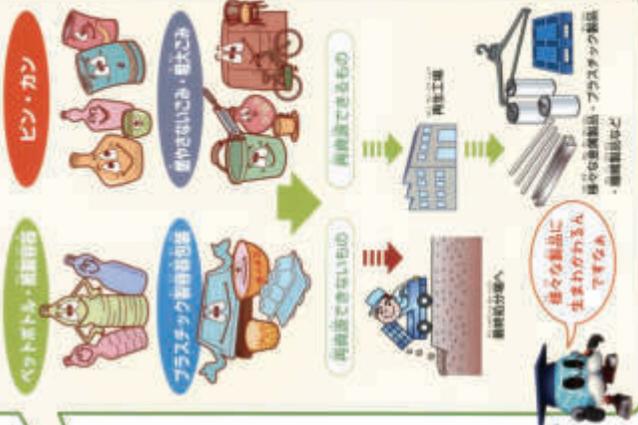
エコロジーを  
 学ぶんじや

豊かな心を育む自然とのふれあい。  
 山と里をテーマにしたビオトープで自然を体験。



## リサイクルセンター

リサイクルセンターは、ペットボトル・瓶類容器・缶・プ  
 ラスチック製容器・ビン・カン・紙やさいごみ・粗  
 大ごみを処理し、資源として再利用できるように選別して  
 います。



ペットボトル・瓶類容器

ビン・カン

プラスチック製容器

紙やさいごみ・粗大ごみ

様々な製品に  
 生まれかわるん  
 じや、使わないよ！

# なが ごみしよりの流れ



プラットフォーム



ごみピット



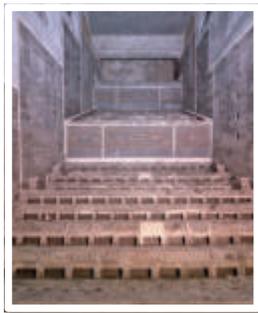
ちゅうおうせいぎよしつ  
中央制御室



ごみクレーン



しょうやくろ  
焼く炉



しゅう  
集じん機



じょうき  
蒸気タービン発電機

さいしん  
最新のせつびがととのっているね。それぞれのやくわりをしらべてみたいね。



## ごみ収集の仕事をしている人のお話

ごみは、私たちが生活をしているかぎり、かならず出てくるものです。香美町のそれぞれの家庭からごみステーションに出されたごみは、ごみを集めるわたしたちの手によって、パッカー車でクリーンパーク北但に運びます。ごみ収集の仕事は大変です。ごみ袋の底にしるがたまって重くなっていたり、ごみ袋がひっくりかえって、中のごみがとび出ていることがあります。

また、ごみ袋の中にわれたガラスコップがまじっていてけがをしそうになったことや、穴をあけていないスプレーかんがはれつしてこわい思いをしたこともありました。

ごみの出し方のルールは、たくさんあって大変ですが、町の人ひとりひとりがしっかりと守ってくれれば、わたしたちも安心して気持ちよく仕事ができます。

ごみしよりについて正しく知り、みなさんの力でいつまでも美しい香美町にしていきましょう。

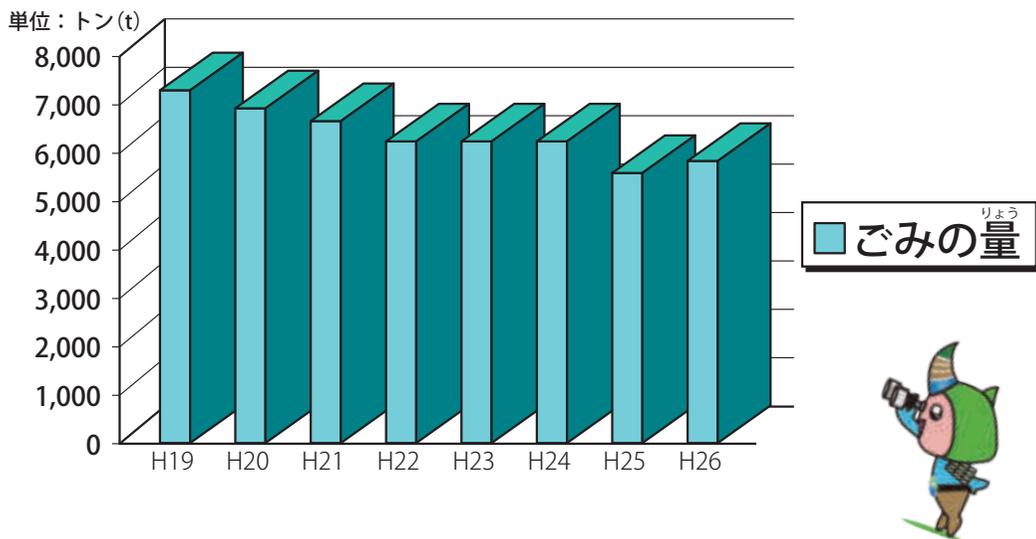
ごみの処理は、いやなおいがしたり、きけんな物がまじっていたりして、たいへんな仕事です。それでも係の人は、香美町でくらすみなさんのために一生けんめいに仕事をしてくれています。



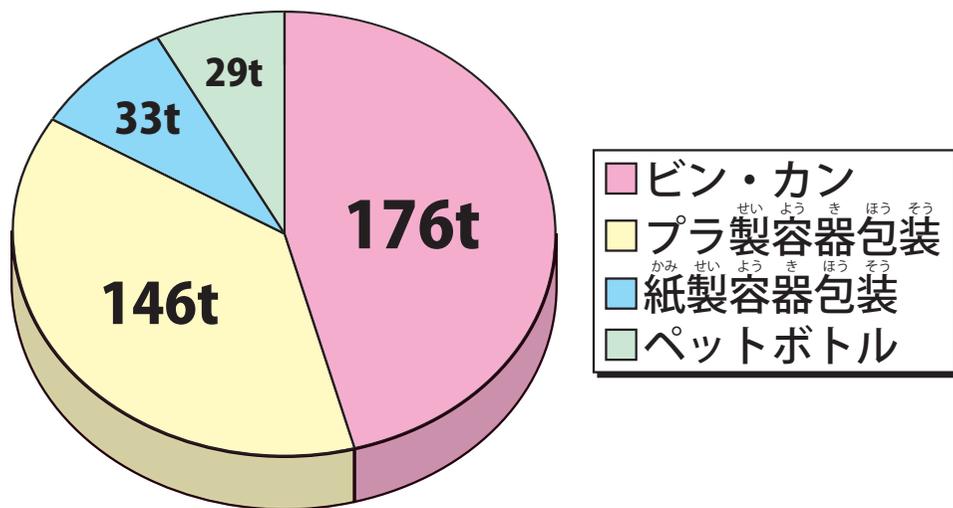
# かんきょうを守る

どうすれば、ごみの量をへらすことができるのだろう。  
 そのためにどことなくふうができるのか調べてみよう。

香美町のごみの量のうつりかわり (H19～H26)



おもな資源ごみの量 (2016年度 クリーンパーク北但の香美町持ちこみ量)



## クリーンパーク北但（リサイクルセンター）

すてられたごみの中から、わたしたちの暮らしの中で資源となるものを選んで（選別）利用することをリサイクルといいます。

クリーンパーク北但には、ごみを資源として再利用するためのすぐれた機械がたくさんあります。ペットボトル・紙製容器包装・スチールカン・アルミカンを小さくかためる機械やプラスチック製容器を選別し、小さくかためる機械、もえないごみや粗大ごみを細かくくたいて、もえるごみとアルミなどの資源に仕分ける機械などがあります。

リサイクルセンターは、いろいろなごみをしょりするために、さまざまな機械や設備がととのっているよ。



### ちゅうおう そう さしつ 中央操作室



施設内の機械がいつも正しく動くように、運転や監視、点検をしています。

### かみせいよう きほうそう ペットボトル・紙製容器包装



ペットボトル・紙製容器包装をかためて小さくする機械があります。

## ビン・カン類



金属圧縮機で、カンを小さくまとめます。



金属圧縮機で、まとめられたカン。

## プラスチック製容器包装



破たい機で、ゴミ袋をやぶり、プラスチックを取り出します。



小さくかためられた容器包装をつつみます。

## 不燃ごみ・粗大ごみ



高速回転破砕機で燃えないごみを小さくくだきます。



可燃・不燃分別装置で、燃えるものと燃えないものを分けます。

リサイクルセンターでは、選別したごみの中から、資源として再利用できるものを再生工場に運びます。再利用ができるごみは、そこで、様々な金属製品・プラスチック製品・繊維製品などに生まれ変わります。

## 「クリーンパーク北但」係の人のお話

クリーンパーク北但は、美しい環境を守るために作られたみんなの施設です。ごみをリサイクルし、再び使えるようにすることは、ごみをへらし、かんきょうを守るにつながっています。ここでは、ごみをもやすときに出るけむりやにおい、自然によくないものをほとんど取りのぞくことができます。

また、ごみをもやすかで電気をつくることもできます。つくった電気です、クリーンパーク内の機械を動かしたり、地域の会社に電気を売ったりもしています。ごみは、すてるだけのものではなく、わたしたちの生活に役立つものでもあるのです。

他にも、クリーンパーク北但では、動物や植物、人びとが、おたがいにつながりあってくらししていけるように、森や山を整備し、ゆたかな自然を守る活動にも力を入れています。

自然のめぐみをむだなく使い、わたしたちの出したごみで自然をこわすことがないようにしていくことが、これからますます大切なことになっていくと思います。



わたしたちにできることもありそうだね。



# ごみをへらそう，生かそう大作戦 だいさくせん

## ごみ減らしのポイントは3つのR



### ① Reduce (リデュース) …… ごみになるものを減らす

- 買（か）いものときはエコバグを持（も）っていく。
- 過（か）剰（じょう）な包装（ほうさう）は断（こと）ろう。
- 詰（つ）め替（か）えてき（き）る商品（しょうひん）を（か）いおう。



### ② Reuse (リユース) …… 捨（す）てず（に）また使（も）う

- まわり（まわり）の友（とも）達（だ）など必要（ひつよう）としてい（い）る人（ひと）にゆ（よ）ずる。
- フリーマ（フ）ーケ（マ）ーケ（ケ）ット（と）やリサイ（リ）クル（ク）ル（ル）ショ（ショ）ップ（ッ）を（か）活用（か）しよう！



### ③ Recycle (リサイクル) …… もう一度（いちど）資源（しげん）として生（な）かす

- ごみ（ごみ）から資源（しげん）をきちん（きちん）と分別（ぶんべつ）して出（で）そう！
- 再（あ）び（び）生（な）品（ひん）やエコマ（エコ）ーク（ーク）の（か）商品（しょうひん）を（か）選（え）ぼう！



## 資源（しげん）ごみ（ごみ）はキレイ（キレイ）にして出（で）すんじや

<b>かん</b> 	● 中（なか）身を（み）たす	● 中（なか）を（を）洗（あら）う	● 水（みず）分（ぶん）を（を）取（と）る	
<b>びん</b>	● 栓（せん）ふた（ふた）を（を）は（は）ずす	● 中（なか）を（を）洗（あら）う	● 水（みず）分（ぶん）を（を）取（と）る	
<b>ペットボトル</b> 	● ふた（ふた）を（を）は（は）ずす	● 中（なか）を（を）洗（あら）う	● 水（みず）分（ぶん）を（を）取（と）る	● ラ（ラ）ベル（ベル）を（を）は（は）ずす
<b>プラスチック</b> 	● 中（なか）身（み）を（を）使（も）い（い）き（き）る	● 汚（よ）れ（れ）は（は）できる（できる）だけ（だけ）洗（あら）う		

ごみをへらすためには，これからも一人ひとりの努力（どりよく）が必要（ひつよう）です。自分（自分）たち（たち）にできる（できる）ことを，お家（お）の人（ひと）とも話（わ）し合（あ）って（あ）い（い）ま（ま）し（し）ょう（う）。

## (2) 命とくらしをささえる水

### くらしと水

水は、わたしたちのくらしに欠かせないものです。わたしたちは、水なしで生きることはできません。わたしたちが、健康な体を保つためには、1日に2～3Lの水をとり入れています。この大切な水について、考えてみましょう。

1日にどれくらい、水道の水を使っているか調べてみよう。

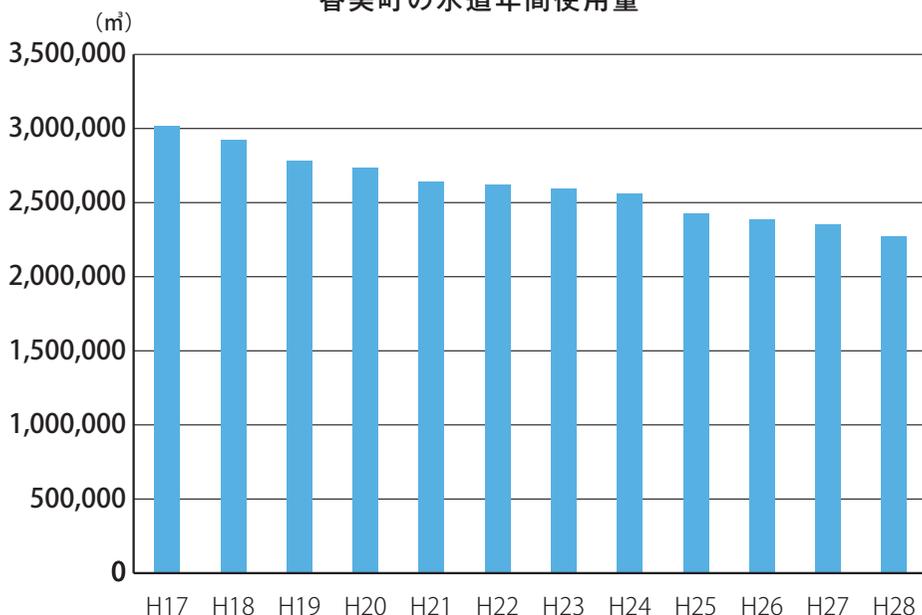


香美町で1日に使う水の量は、25mプール約17杯分です。  
(約6,200<sup>m<sup>3</sup></sup>)



1人が一日に使う水の量は、10リットルバケツ約34杯分です。  
(約340<sup>リットル</sup>)

香美町の水道年間使用量



## 水の旅

1日にどれくらい、水道の水を使っているか調べてみよう。

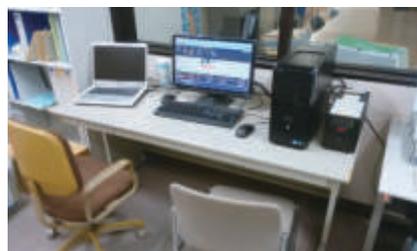
水道の水源は、川の水、ダムにためた水、地下水と大きく3つに分けられます。それらの水は、そのままでは飲むことができません。じょう水場できれいにして、安心して使える水にします。

香美町には、いくつかのじょう水場があり、川の水を直接とり入れたり、地下水をくみ上げたりして飲み水にしています。

### じょう水場



香美町上下水道課



水道監視装置 (PC)

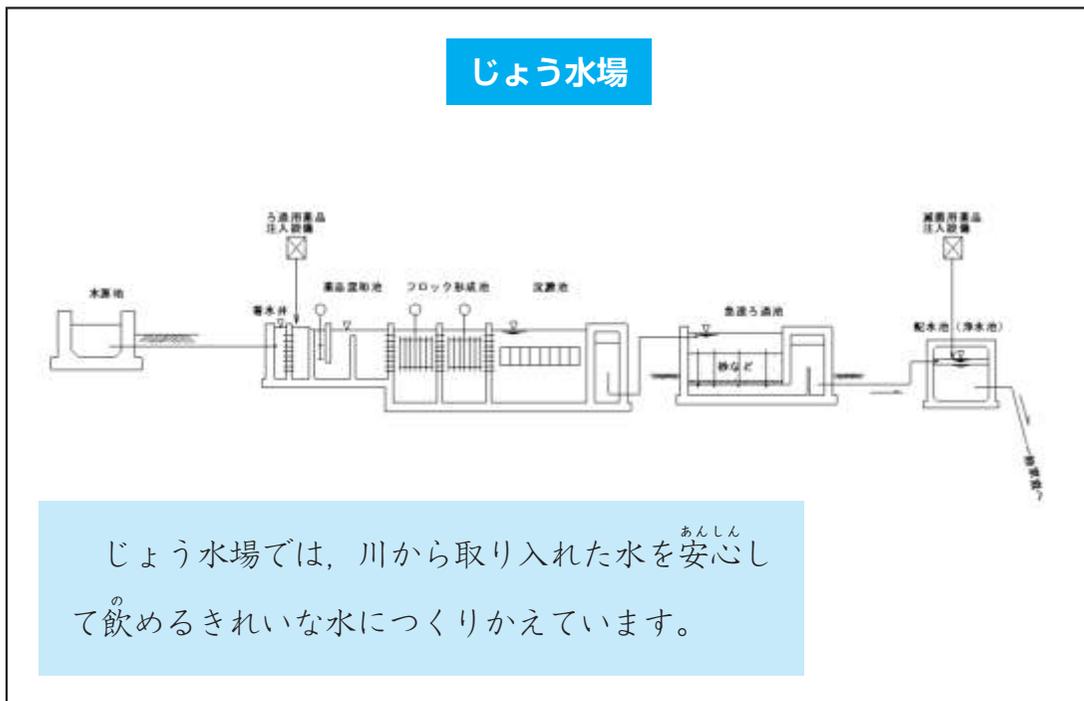


水道監視装置 (タブレット)

### じょう水場の係の人のお話

じょう水場は、水道の水をつくる工場です。1日も休みなく水がつくられています。水の安全を検査し、いつでも、どこでも安心して使えるようにがんばっています。

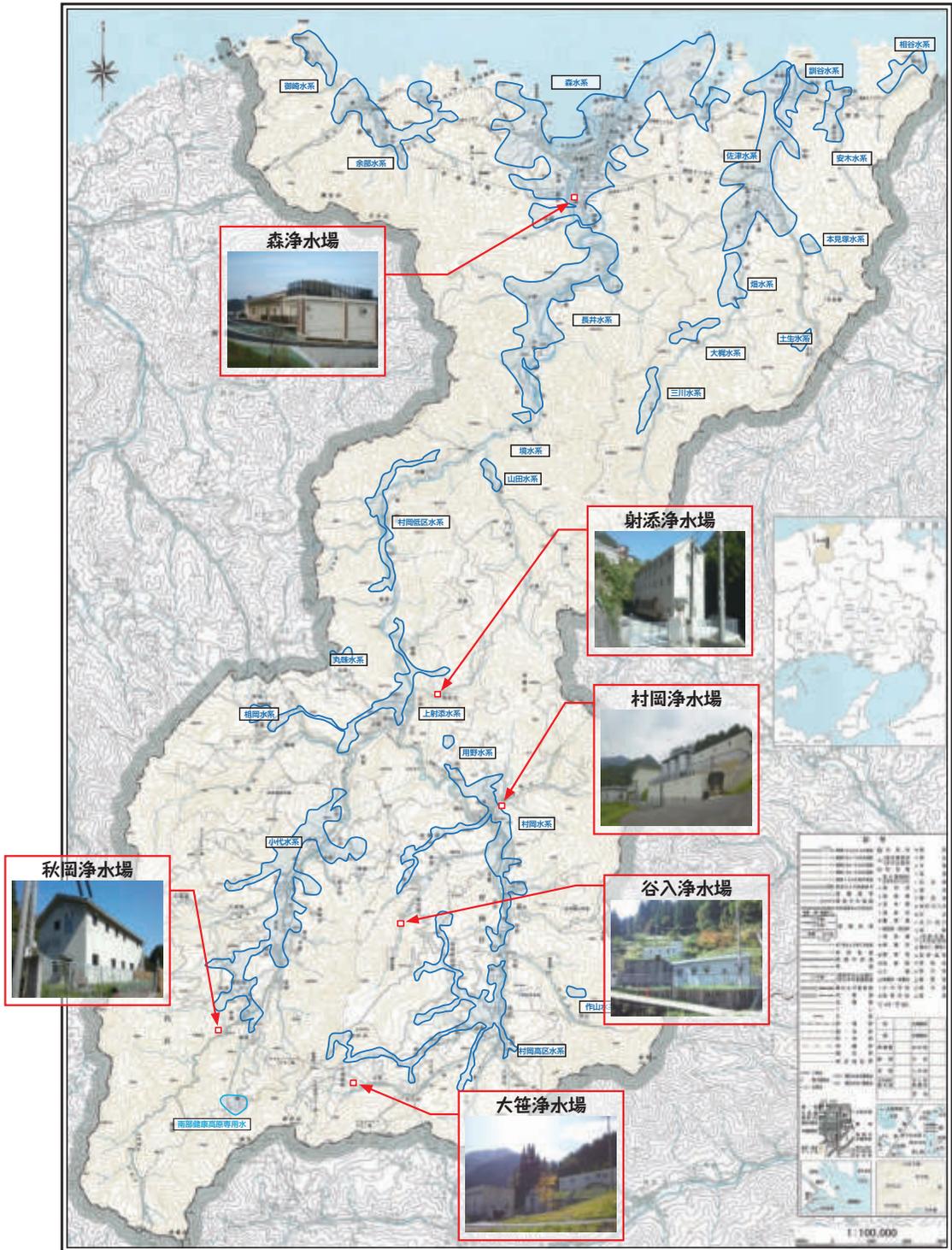
## の 飲み水がつくられるしくみ



の  
飲み水をつくるための、いろいろなしせつについて<sup>しら</sup>調べてみよう。

- |                          |                          |
|--------------------------|--------------------------|
| ① <sup>すいげんち</sup> 水源地   | ④ <sup>ちんでん池</sup> ちんでん池 |
| ② <sup>じょう水場</sup> じょう水場 | ⑤ <sup>ろか池</sup> ろか池     |
| ③ <sup>はいすいち</sup> 配水地   |                          |

# 香美町給水区域図



## 水のめぐみをたいせつに

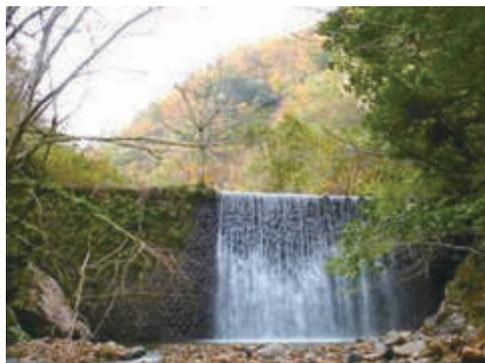
すいげん まも  
水源を守るために、どんな取り組みがあるかしらべてみよう。

森林がないと、ほとんどの水は蒸発<sup>じょうはつ</sup>するか、すぐに流れ出して<sup>なが</sup>してしまいます。  
森林<sup>まも</sup>を守ることが、すいげん まも  
水源を守る<sup>すいげん まも</sup>ことになります。

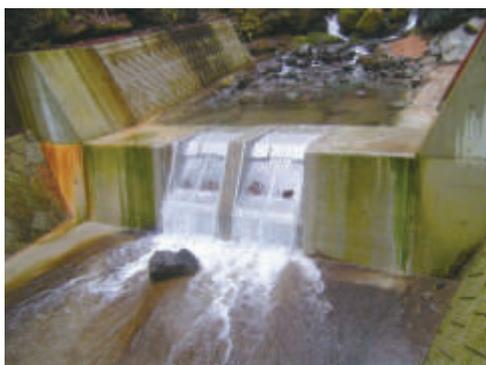
おじろくには、すいげん まも  
水源を守るための水源涵養保安林<sup>すいげんかんようほあんりん</sup>があります。



きつすいげんち いどみず  
佐津水源地（井戸水）



すいげんち  
熊波水源地（熊波溪谷）



すいげんち  
秋岡水源地（青川）



むらおかすいげんち そぶ  
村岡水源地（蘇武トンネル）

# 5 <sup>あんぜん</sup>安全なくらしをまもる

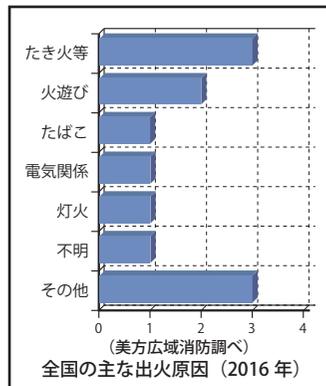
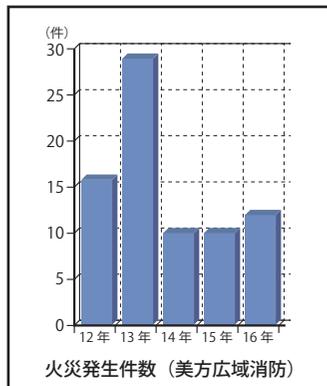
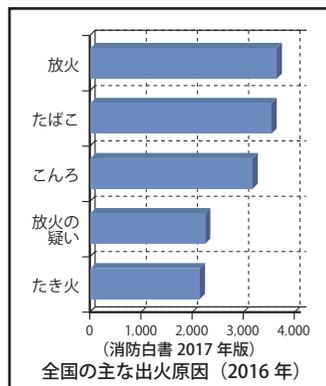
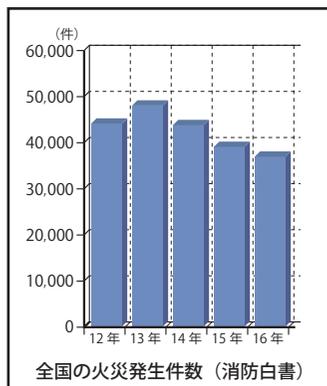
## (1) <sup>かじ</sup>なくそうこわい火事

<sup>かじ</sup>火事がおきると

<sup>かじ</sup>火事をなくす<sup>かつどう</sup>活動について<sup>しら</sup>調べてみよう。

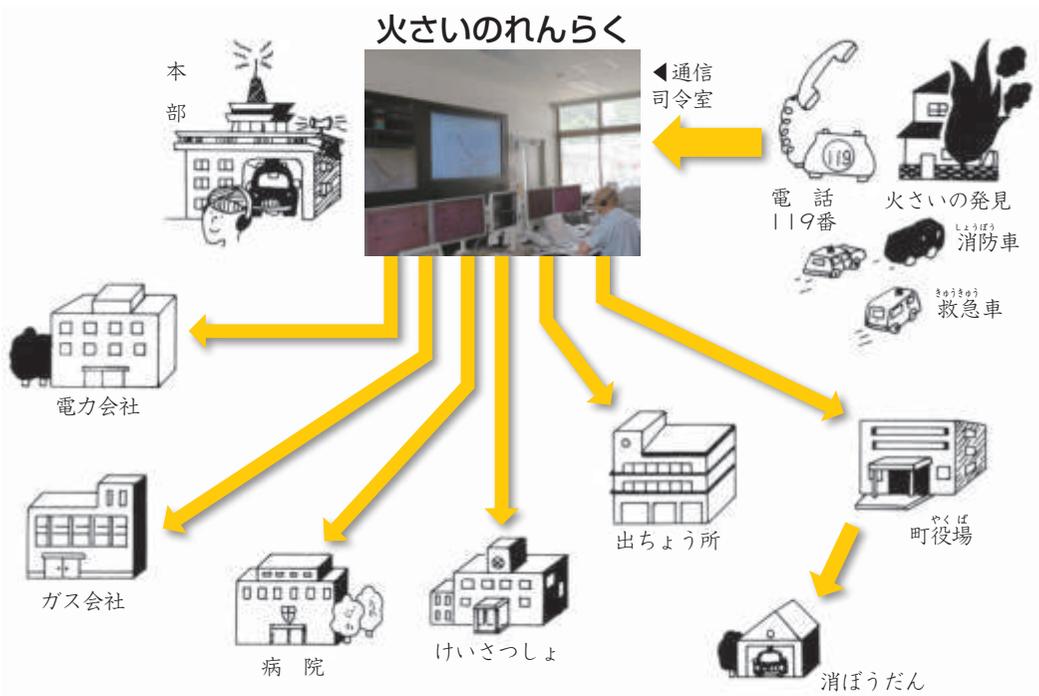


<sup>かじ</sup>火事はなぜ<sup>お</sup>起こるのだろうか。知っていることや見たこと、聞いたことなどを友だちと話し合ってみましょう。また、<sup>かじ</sup>火事やそのひ害を少なくするために、<sup>かみ</sup>香美町では、どんな<sup>しら</sup>取り組みが行われているか調べてみましょう。



<sup>しょうぼうしょ</sup>消防署ではたらく人たちは、<sup>しごと</sup>どんな仕事をしているのかな。

# 119番のしくみ



香美町の消防団は、32分団と964人の団員からできています。消防ポンプ自動車8台とポンプ積載車63台で、地いきを守っています。



# 消防署の仕事とはたらき

火事の現場に早く着くためのくふうを考えよう。

〈消火と救助活動・・・点検 訓練 救急 広報〉



点検(ポンプ車)



はしご車



防火服



災害発生状況



さまざまな訓練

※美方広域消防では、消防に関する情報をホームページ上で発信しています。

<http://www.nosai-mikata.or.jp/mikata-fd/>

## 救急について



救急車

美方広域消防の救急出動件数は、2015年中は1785件、2016年中は1831件でした。救急出動件数は、年々増加傾向にあります。これは、全国的に見ても同じです。

<参考 全国の救急出動件数>

2008年 5,097,094件

2016年 6,209,964件



救急車の中の様子



ドクターヘリ

ドクターヘリの一番のよさは、緊急患者のいる救急現場に、医師や看護師をすばやく送り届け、すぐに手当てを開始し、病院などへ向かうことが可能になることです。

※ドクターヘリは、119番通報を受けた消防署がドクターヘリの出動要請をします。美方広域消防では、2016年中363件の出動要請をしています。

くらしと命は自分たちの手で守ろう

地いきにはどんな消防施設があるかや、消防団はどのような活動をしているのかを調べよう。



消火栓



防火水そう



消防団出初式

消防団訓練



火事を起こさないために、わたしたち一人一人が気をつけることはどんなことかな。

## 消防署の人のお話

火事が起こった時の消火活動はもちろんのこと、日ごろから消防訓練や消火せつびの点検などもしています。それは、火事が起きると、大事なものがみんなもえてなくなってしまうからです。また、一番大切な命をうばうこともあるので、気をつけたいですね。



出動の合図があると、1分くらいで出て行けるようにしています。  
(ヘルメット…頭を守ります。 防火服…もえにくい服です。)

## 消防団の人のお話

消防団員は、わたしたちの地いきに住んでいて、ふだんはそれぞれの仕事をしています。火事が起きるとすぐに現場にかけつけ、消火活動を行います。

日ごろから、訓練や消防車の点検をしています。また、年末や大雨の時などには、見回りもしています。

地いきの安全と住民の命を守るために、がんばっています。



### <お役立ちサイト>

○消防防災博物館

<http://www.bousaihaku.com/cgi-bin/hp/index5.cgi>

○キッズ消防士

<http://www.city.akaiwa.lg.jp/kurashi/syoubouhonbu/kids/index.html>

○わたしたちのまちの消防署

<http://www.city.utsunomiya.tochigi.jp/kurashi/anshin/shobo/kids/kids/>

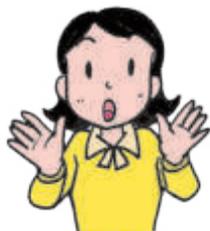
## (2) ふせごう<sup>こうつうじ こ</sup>交通事故や<sup>とうなん じ けん</sup>盗難事件

こうつうじ こ ふせ  
交通事故を防ぐ

こうつうじ こ かつどう しら  
交通事故をなくす活動について調べてみよう。



じ こ はっせい  
事故発生



110番へ

110番



つうしん しらいしつ  
通信司令室

出 動

きんきゆう  
連絡



パトロールカー



けいさつかん  
警察官



み かたけいさつしよ  
美方警察署

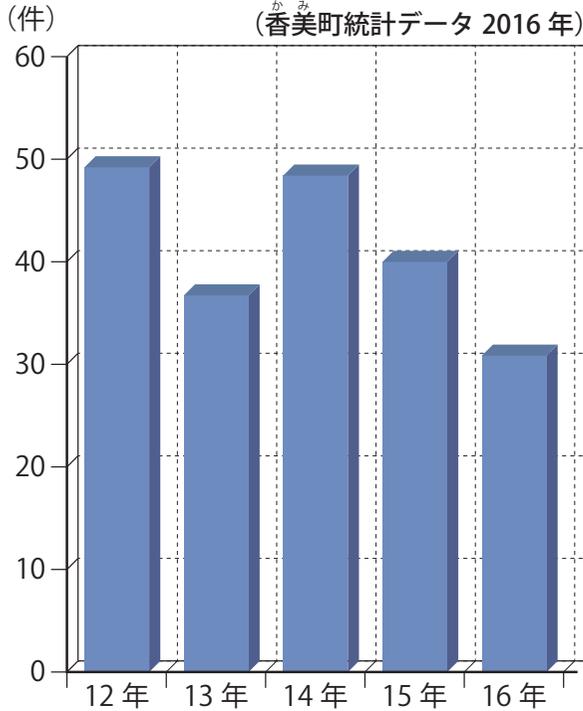
### つうしん しらいしつ けいさつかん 通信司令室の警察官のお話

まず、落ち着いて110番へ電話をかけてください。そうしたら、  
ひょうごけんけいさつほんぶ つうしん しらいしつ  
兵庫県警察本部にある通信司令室につながります。そこで「自分の名  
前」、「いつ」、「どこで」、「何があったか」、「どんな様子か」を伝  
えてください。すぐに通信司令室からけいさつしよや交番、近くにいる  
パトロールカーに指令が出ます。指令をうけた警察官が現場にかけつけ、  
じ こ そうさ こうつうせいり  
事故のそうさや交通整理をします。

けいさつからしょうぼうしよ びょういん れんらく  
けいさつから消防署や病院に連絡することもあります。

香美町では1年間にどれくらいの交通事故がおきているのでしょうか。資料をもとに話し合しましょう。

香美町の交通事故発生件数  
(香美町統計データ 2016年)



事故の理由 (自動車)

- ・スピードの出しすぎ
- ・前や後ろをよく見ていない
- ・対向車線へのはみ出し
- ・右や左をよく見ていない
- ・信号無視
- ・その他

事故の理由 (歩行者)

- ・飛び出し
- ・車のかげから横断
- ・信号無視
- ・その他

交通課の警察官のお話

警察署ではふだんから交通事故を防ぐために、いろいろな活動を行っています。みなさんの学校で交通安全教室を行い、事故にあわないための指導もしています。一番大切なことは、一人一人が「車が来るかもしれない」「止まってくれないかもしれない」と思ってよく確認するということです。交通ルールは私たちの大切な命を守るためにあるのですからしっかり守りましょう。



## 警察のしくみと仕事について調べてみよう

私たちの安全なくらしを守るため、警察署ではどんな仕事をしているのか調べてみよう。

### 美方警察署の警察官のお話

美方警察署は新温泉町の戸田にあります。ここでは約80人の警察官が、みなさんの安全なくらしを守るため24時間、一日も休まず交代で働いています。

また、役場や消防署や病院と連絡を取り合い、事件や事故にそなえています。

美方警察署は香美町と新温泉町を受け持っています。警察署の他にも、交番や駐在所、警部派出所が美方郡内に全部で20カ所あり、町の安全を守っています。

### 警察署のしくみと仕事

警務課	警察署にきた人の受付や警察官の健康管理など
刑事課	どろぼうの事件を調べて犯人を捕まえたり、暴力団や覚せい剤の取締りなど
生活安全課	防犯運動や少年のほどうなど
地域課	事件や事故が起こらないようパトロールしたり、現場への急行など
交通課	交通整理や交通事故のそうさ、交通違反の取締りなど
警備課	災害が起こったときの救助活動など
会計課	お金の計算や落とし物のあつかいなど



警察の仕事は大変だね。  
でもそのおかげで私たちは  
安心してらせるんだね。



美方警察署

町には安全を守るための施設や工夫があります。どんなものがあるか調べてみましょう。



ふみきり



信号機



押しボタン信号



道路ひょうしき



この他にも安全を守るための工夫や施設がたくさんあるね。

それから私たちの安全を守ってくれる人もいたね。

### ボランティアの人のお話

春や秋の交通安全運動を中心に、朝の交通安全立ち番をしています。

警察やPTA、学校と協力して、みなさんが安全に学校に通えるように気をつけています。

ふだんの生活の中で「あぶない。」と感じたことはありませんか。自分の経験<sup>けいけん</sup>を話し合ってみよう。

ぼくは見とおし<sup>わる</sup>の悪い交差点で、  
建物<sup>たてもの</sup>のかげから急に<sup>きゆう</sup>車がでてきて、  
こわかったことがあるよ。



わたしも信号<sup>しんごう</sup>のある交差点<sup>おうだん</sup>を横断している  
ときに、曲<sup>ま</sup>がってきた車にひかれそうになっ  
たことがあるわ。

急<sup>いそ</sup>いでいて、信号<sup>しんごう</sup>が青にかわらないうちに横断<sup>おうだん</sup>  
してしまったことはないかな。

また、青にならないうちに自動車をスタートさ  
せる人もあるね。



見通し<sup>わる</sup>が悪かったり、車がたくさん通ったり、道がせまかったりと、あなたの家や学校の近く<sup>あぶ</sup>に危ないところはありませんか。みんなで「どんなところが」、「どういう風<sup>あぶ</sup>に」危ないのか調べ<sup>しら</sup>べましょう。そして、事故<sup>じこ</sup>にあわな  
いたために自分たちにできることを話し合いましょう。

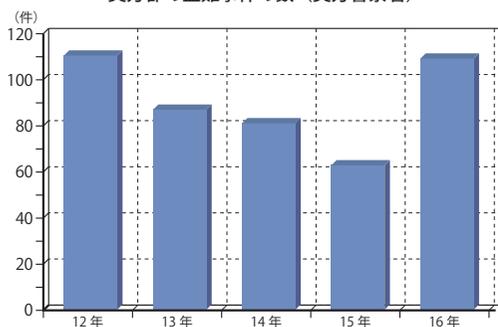
## 盗難事件をふせぐ

盗難事件をふせぐ取り組みについて調べてみよう。

さいきん 交通事故ばかりじゃなくて、盗難などの  
事件もあるそうだよ。なんだかこわいな。



美方郡の盗難事件の数（美方警察署）



### ぬすまれたもの

- ・自動車においでいるお金
- ・家においでいるお金
- ・かばん
- ・自転車
- ・万引き（お店の商品）
- ・その他



パトロール



巡回連絡

### 駐在所の警察官のお話

警察では盗難事件などの犯罪を防ぐためにいろいろな活動を行っています。しかしそれだけでは十分ではありません。警察の目のとどかないところは住民一人一人の協力が必要です。みなさんも変わったことやふしんな人を見かけたら、知らせてください。

## 安全を守る

みんなで町の安全を守る活動を進めよう。



警察官の話聞いて、学校の行き帰りやふだんの生活の中で、ぼくたちの安全を守るための場所があることや、安全を守ってくれる人がいることがわかりました。



子ども110番の家



地域子ども見守り隊

## 安全マップを作ろう

自分の安全を自分で守るために危険な場所や避難場所などを調べて、地図に書いてみよう。

地図に書きこもう。

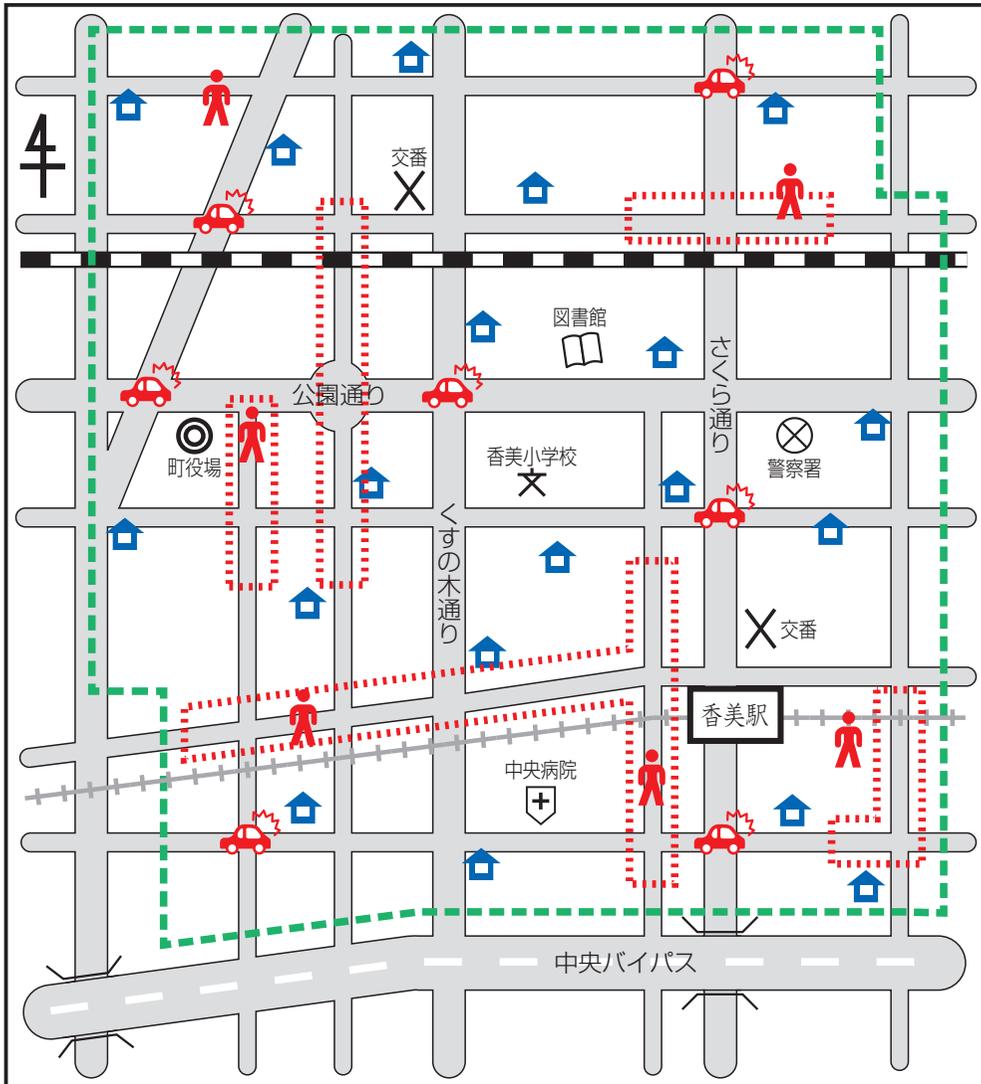
- |  |   |
|--|---|
| ・危険なところ……………!  | ・子ども110番の家…  |
| ・警察署……………   | ・交番……………     |
| ・避難場所……………  | ・病院……………     |
| ・通学路を赤い線でなぞって確認してみよう。  |   |



いざという時のために、自分の安全は自分で守ることができるように、気をつけておきたいね。

香美町  
香美小学校区

安 全 マ ッ プ



--- 香美小学校区



-  事故が多い場所，車に注意！
-  暗くて人通りの少ない場所

-  子ども110番の家
-  小代交番 0796-\*\*-\*\*\*\*  
村岡交番 0796-\*\*-\*\*\*\*
-  けい さつ しょ  
警察署 0796-\*\*-\*\*\*\*



### (3) 自然災害から人々を守る

自然災害から人々を守るために、どんなことが必要なのか調べてみよう。

- 自然災害が起こるとどんな危険があるのかな？
- どのように避難したらいいのかな？
- どんな備えをしておけばいいのかな？
- 自然災害の原因やしくみが知りたいな。



それなら「兵庫県CGハザードマップ」のホームページを調べてみるといいよ。カスミちゃんが知りたい防災学習はもちろん、過去の自然災害、危険な場所がわかるハザードマップ、天気や川、海などのリアルタイム情報が出ているよ。他にも国や県の防災関連情報や交通、電気、ガスなどのライフライン情報などのリンク集もあるんだよ。



それから、みんなが学校で行っている地震や津波のときの避難訓練も大切な防災学習だね。

香美町や各市町の「災害・防災情報」のホームページも参考になるし、防災教育副読本「明日に生きる」も調べてみるといいよ。



## 6 地域の発展につくした人

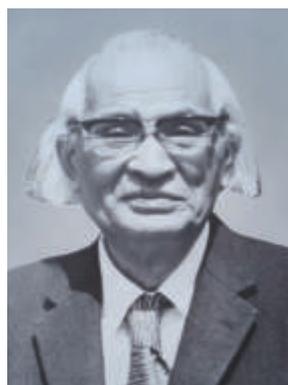
わたしたちの住んでいる香美町は、面積のほとんどが山で、冬は雪も多く、昔の人々はとてもきびしい自然の中で生活してきました。そのような中でも、ふるさとをととても愛し、ふるさとのためにつくした人々がいます。

地域の発展につくした人について調べてみよう。

### (1) へき地医りょうに生きた歌人

丸山修三 1904~1990

丸山修三は、明治37年（1904）香美町村岡区野々上に福井国太郎の三男として生まれました。丸山というみょう字は、大正15年（1926）村岡区原の丸山家の養子となってからのことです。



修三は、昭和5年京都府立医科大学卒業後、ふるさと村岡に帰り村医者としてすごすこと60年。いつも農民にあたたかい目を向け、心からかれらを愛し、「谷々を照らす太陽」としたわれたのでした。

とうげ一つ こゆ（え）る部落に 行かむ（う）とし  
先びき一人 後おす一人

但馬でも名だたるごう雪地たい村岡では、一人のかん者のおうしんに丸一日かかることもめずらしくありませんでした。けわしい坂道を、むかえの村人に前からつなでひいてもらい、後ろからは押してもらってやっととうげをこえたこともあったほどです。

足がじょうぶで なくばつとまらぬ といふ (う) 村に  
とにかく<sup>そん い</sup>村医を つとめ来にけり

苦<sup>くろう</sup>勞の多いおうしんなので、時には氣の重<sup>おも</sup>いときもあります。体の調子<sup>ちようし</sup>の悪<sup>わる</sup>いときもありました。こういうときはことわってしまいたくなります。しかし、病人のうめき声が聞こえるようでじっとしておれず、けっきょくおうしんにでかけるのでした。

くすりだい  
薬代の はらえぬわけを いいながら  
ど ま  
土間に少しの 野さいをおきぬ

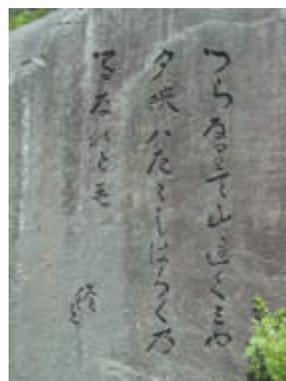
おそろおそろ野菜<sup>やさい</sup>をさし出す農民<sup>のうみん</sup>の顔が見えるようです。お金をはらいたくてもはらえないせっぱつまった生活をかかえているのです。修三<sup>しゅうぞう</sup>はそこはよく心えていて、「お金のことなら心配<sup>しんぱい</sup>せんでええぞ、それより具<sup>ぐ</sup>合<sup>あい</sup>が悪<sup>わる</sup>うなったらいつでも来るんじゃぞ。」と、やさしくいたわりの言葉をかけてやるのでした。

しゅうぞう  
修三の、この医<sup>い</sup>りょうにかけ<sup>じょうねつ</sup>る情熱はどこから生まれたのでしょうか。それは、生まれながらの人間愛<sup>あい</sup>と豊<sup>ゆた</sup>かな感<sup>かん</sup>せいにあると思われます。そして、それこそがかがやくばかり豊<sup>ゆた</sup>かな短<sup>たん</sup>歌<sup>か</sup>として生まれたのです。

つらなりて 山遠く見ゆ 夕ばえは  
ただしばらくの 間なれども



や うつく  
夕焼けの美しいけしきが、見えるようだね。



まるやましゅうぞう か ひ う わ の  
丸山修三歌碑（兔野高原）

かれは医りょうのかたわら、一日も休まず短歌を作り続けました。そして、  
但馬短歌会で活やくしました。



まるやましゅうぞう む い ぞん い  
丸山修三さんは、無医村の医りょうに全力でつくし  
てきたんだね。そして、い ぞう きゅうい ぞう  
射添小学校、旧射添中学校の  
校歌をさくし  
作詞しました。

たじまぶん か きょうかいはっこう たじまじんぶつものがたり いんよう  
但馬文化協会発行「但馬人物物語」より引用

## (2) 香住漁港の父

— 長 瀬 ・ 耕作 父子 —



長瀬 (1859 ~ 1921)



長耕作 (1887 ~ 1929)

今の香住漁港は、たいへん大きくりっぱになっていますが、明治のころの香住は、小さな漁船（帆船）や地引きあみで漁をするまずしい村だったそうです。

そのころの香住の沖は、魚の豊かなよい漁場でした。しかし、港といっても岡見公園のある城山の岩かげにわずかばかりの船だまりがあるだけで、春から秋までの短い間しか使うことができませんでした。そして、海があれた時には命がけて船を守らねばなりませんでした。また、毎日の浜あげは、こしまで海水につからなくては作業ができないたいへんにきびしい仕事でした。

「港がほしい」「港をつくれ」という声は、漁業にたずさわる人々だけでなく、村の人々みんなのねがいでした。

明治の終わりころ、初代組合長・村長・県会議員であった一日市の長瀬は、何とかこの香住の港をりっぱにし、漁業をさかんにしたいと考え、国や県に働きかけました。

ぎょぎょうくみあい ちょうひろし くみあいそうだい つ だきゅうぞう  
漁業組合長の長熙と組合総代の津田久造の二人は、

「なあ久造さん、少しぐれえな荒れなら、船を浜にあげんでもええ港がほしいなあ。」

「くみあい 荒れの時の心配だけじゃあねえです。となりの柴山や津居山には発動機をつけた船があって、ええ漁をしとるちゅうのに、香住にはそんな船をつないどくええ港がねえばかりに……。」

「ほんとになあ、なんとかして、ええ港をつくらんなあかなあ。」  
と、いつも話すのでした。

思いを残したままこの世を去った熙の後をついだ子どもの耕作も、第三代組合長・村長・町長となり、父の志をついで港をつくることに一生けん命努力しました。

この親子二代にわたっての苦心と努力により、今日の香住漁港のものがきづかれました。

その後、港湾ができて、香住は漁業だけでなく、魚を加工する仕事や魚や製品を駅まで運ぶ仕事など、それまでになかったいろいろな仕事かふえ、家も人もふえていきました。



ちょうひろし こうさく かすみはってん  
長熙・耕作親子は、香住発展のきそをつくりあげたんだね。

## かすみ かん 香住漁協関係年表

1916年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長<sup>ちようひろし</sup>熙<sup>はつどう</sup>，発<sup>き</sup>動<sup>つきぎよせん</sup>機<sup>けんぞう</sup>付<sup>けんぞう</sup>漁<sup>けんぞう</sup>船<sup>けんぞう</sup>「長<sup>けんぞう</sup>光<sup>けんぞう</sup>丸<sup>けんぞう</sup>」を建造する。</li> </ul>
1918年ごろ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・初<sup>しよだい</sup>代<sup>くみあい</sup>組<sup>ちようひろし</sup>合<sup>ぎよこう</sup>長<sup>かいしゆうこうじ</sup>，長<sup>けん</sup>熙<sup>けん</sup>ら<sup>けん</sup>が漁<sup>けん</sup>港<sup>けん</sup>改<sup>けん</sup>修<sup>けん</sup>工<sup>けん</sup>事<sup>けん</sup>に<sup>けん</sup>お<sup>けん</sup>け<sup>けん</sup>て<sup>けん</sup>，国<sup>けん</sup>や<sup>けん</sup>県<sup>けん</sup>に<sup>けん</sup>働<sup>けん</sup>き<sup>けん</sup>か<sup>けん</sup>け<sup>けん</sup>る。</li> </ul>
1921年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長<sup>ちようひろし</sup>熙<sup>ちようひろし</sup>，63才<sup>えいみん</sup>で永<sup>えいみん</sup>眠<sup>えいみん</sup>する。</li> </ul>
1924年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・父<sup>ちようこうさく</sup>の志<sup>くみあい</sup>をついて，長<sup>ちようこうさく</sup>耕<sup>くみあい</sup>作<sup>くみあい</sup>が組<sup>けん</sup>合<sup>けん</sup>長<sup>けん</sup>と<sup>けん</sup>な<sup>けん</sup>り<sup>けん</sup>国<sup>けん</sup>や<sup>けん</sup>県<sup>けん</sup>に<sup>けん</sup>働<sup>けん</sup>き<sup>けん</sup>か<sup>けん</sup>け<sup>けん</sup>るが，関<sup>かん</sup>東<sup>かん</sup>大<sup>かん</sup>震<sup>かん</sup>災<sup>かん</sup>や<sup>かん</sup>但<sup>たじま</sup>馬<sup>たじま</sup>地<sup>たじま</sup>方<sup>たじま</sup>の<sup>たじま</sup>大<sup>だい</sup>水<sup>すい</sup>害<sup>がい</sup>の<sup>がい</sup>た<sup>がい</sup>め<sup>がい</sup>，計<sup>けい</sup>画<sup>かく</sup>が<sup>かく</sup>お<sup>かく</sup>く<sup>かく</sup>れ<sup>かく</sup>る。</li> </ul>
1928年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国<sup>ひよう</sup>の<sup>かすみぎよこう</sup>費<sup>かすみぎよこう</sup>用<sup>かすみぎよこう</sup>で<sup>かすみぎよこう</sup>香<sup>かすみぎよこう</sup>住<sup>かすみぎよこう</sup>漁<sup>かすみぎよこう</sup>港<sup>かすみぎよこう</sup>を<sup>かすみぎよこう</sup>大<sup>かすみぎよこう</sup>き<sup>かすみぎよこう</sup>く<sup>かすみぎよこう</sup>す<sup>かすみぎよこう</sup>る<sup>かすみぎよこう</sup>こ<sup>かすみぎよこう</sup>と<sup>かすみぎよこう</sup>が<sup>かすみぎよこう</sup>や<sup>かすみぎよこう</sup>っ<sup>かすみぎよこう</sup>と<sup>かすみぎよこう</sup>決<sup>かすみぎよこう</sup>定<sup>かすみぎよこう</sup>さ<sup>かすみぎよこう</sup>れ<sup>かすみぎよこう</sup>る。</li> </ul>
1929年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農<sup>のうりんしやう</sup>林<sup>のうりんしやう</sup>省<sup>のうりんしやう</sup>か<sup>のうりんしやう</sup>ら<sup>のうりんしやう</sup>「漁<sup>ぎよこう</sup>港<sup>けいかく</sup>計<sup>けいかく</sup>画<sup>けいかく</sup>案<sup>けいかく</sup>」が<sup>のうりんしやう</sup>示<sup>のうりんしやう</sup>さ<sup>のうりんしやう</sup>れ<sup>のうりんしやう</sup>る。</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香<sup>かすみぎよこう</sup>住<sup>かすみぎよこう</sup>漁<sup>かすみぎよこう</sup>港<sup>かすみぎよこう</sup>起<sup>かすみぎよこう</sup>工<sup>かすみぎよこう</sup>式<sup>かすみぎよこう</sup>が<sup>かすみぎよこう</sup>行<sup>かすみぎよこう</sup>わ<sup>かすみぎよこう</sup>れ<sup>かすみぎよこう</sup>る。</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長<sup>ちようこうさく</sup>耕<sup>ちようこうさく</sup>作<sup>ちようこうさく</sup>，43才<sup>えいみん</sup>の<sup>えいみん</sup>若<sup>えいみん</sup>さ<sup>えいみん</sup>で<sup>えいみん</sup>永<sup>えいみん</sup>眠<sup>えいみん</sup>する。</li> </ul>
1930年	<ul style="list-style-type: none"> <li>・香<sup>かすみぎよこう</sup>住<sup>かすみぎよこう</sup>漁<sup>かすみぎよこう</sup>港<sup>かすみぎよこう</sup>の<sup>かすみぎよこう</sup>改<sup>かいしゆうこうじ</sup>修<sup>かいしゆうこうじ</sup>工<sup>かいしゆうこうじ</sup>事<sup>かいしゆうこうじ</sup>が<sup>かいしゆうこうじ</sup>始<sup>かいしゆうこうじ</sup>ま<sup>かいしゆうこうじ</sup>る。</li> </ul>



かすみ こう  
香住西港



ちよう ふ し ひ  
長父子の碑  
かすみ く ひ といち  
(香住区一日市)

たじまぶん かきょうかいはつこう たじまじんぶつものがたり いんりやう  
但馬文化協会発行「但馬人物物語」より引用

### (3) 但馬牛の祖

— 前田周助 1798~1872 —

今では、但馬牛は肉牛として全国に名を知られ、世界的に有名になった神戸ビーフのもととは但馬牛とされています。

この但馬牛のもとになる牛を生み出したのが、前田周助でした。



周助は江戸時代の1798年、香美町小代区に生まれました。牛の飼育に熱心な農家に生まれ、小さい時から「牛かいぼうず」とよばれるほど牛が大好きで牛の世話をよくしました。牛と毎日すごすうちに、牛を見る目がたしかになり、今の但馬牛のもとになった周助蔓（まじりけのない血すじの牛）を誕生させました。

18才になった周助は、ひたすらよい牛をさがし歩きました。牛は農作業の働き手だけでなく、毎年生まれてくる子牛を育て、これを売って収入をえることができます。よい牛なら高い値段で売れ、それだけ人々のくらしはよくなるのです。

周助は、よい牛を見つけるとすぐに買い求めてくるものですから、少しももうけにはなりませんでした。

周助のもとには、次々により牛が集められ、日本一の牛を手にしたというよくが出てきました。そして、「日本一の牛をつくるには、日本一の親牛をさがさねばならない。」と思うほどになりました。

周助<sup>しゅうすけ</sup>29才の秋、家族<sup>かぞく</sup>の反対<sup>お</sup>を押し切り銀一貫目<sup>ぎん かんめ</sup>（最高値銀<sup>さいたかね ぎん</sup>350  
もんめ<sup>もんめ</sup>の3倍）をつぎこんで手に入れたため牛は、今までのどの牛よりもすぐ  
れ、みごとに育<sup>そだ</sup>ちました。小代谷<sup>おじろ</sup>の人々は、周助<sup>しゅうすけ</sup>をそんけいするようにな  
り、「周助牛<sup>しゅうすけ</sup>」とよんで注目<sup>ちゅうもく</sup>するようになりました。周助<sup>しゅうすけ</sup>は、生まれ  
ため牛<sup>おじろ</sup>を小代谷<sup>おじろ</sup>のしんせきや知人に分け、よその土地へは一切出<sup>しゅっ</sup>しませ  
んでした。（当時、牛一頭米<sup>じっこく</sup>十石と言われていました。一石は約千<sup>ちゆう</sup>合）

周助<sup>しゅうすけ</sup>33才のある日、養父<sup>やぶ</sup>の有名<sup>ゆうめい</sup>な家畜商<sup>かちくしょう</sup>孫左衛門<sup>まござえもん</sup>は、周助<sup>しゅうすけ</sup>の牛を  
みて

「お名前は聞いとりましたが、これは聞きしにまさる牛ばかり  
じゃ……。これほどとは思ってもみなかった。たいしたもんじゃ。」  
とほめ、周助<sup>しゅうすけ</sup>の牛を売りに出すようたのみました。

周助<sup>しゅうすけ</sup>は、天下<sup>たいか</sup>の大家畜商<sup>だいかちくしょう</sup>にみとめられたことに心がはずみました。養父<sup>やぶ</sup>市  
場に出した周助<sup>しゅうすけ</sup>の牛は、いちやく人気<sup>じんき</sup>が出て最高値<sup>さいたかね</sup>をよびました。そして、  
牛のすばらしさがみとめられ、「小代牛<sup>おじろうし</sup>」というよびかたでよばれるようにな  
りました。

「小代谷<sup>おじろ</sup>に一頭でもよい牛をふやしたい。」

という周助<sup>しゅうすけ</sup>の思いのとおり、小代谷<sup>おじろ</sup>によい牛がふえ、小代牛<sup>おじろうし</sup>のひょうばんは  
うなぎのぼりに高まっていきました。そして、各地<sup>かくち</sup>から家畜商<sup>かちくしょう</sup>が集<sup>あつ</sup>まるまで  
になりました。

しゅうすけ か ちやうてん  
周助は牛飼いの頂点に立ちましたが、

「おじろうし  
小代牛を名牛として後々まで変わらず伝え残さねば  
ならんのじゃ。これには最高の良牛を選び出して、  
その血すじをみちびきふやすことにある。」



しんねん もと  
という信念のもと、良牛中の良牛をさがし求めました。

しゅうすけ たいぼう  
周助53才のとき、ついに待望の良牛にめぐり会いました。その三  
才のめ牛を、前田家の田畑・山林をたんぽに銀二貫七百五十匁（現在の  
2千万円以上）で買いました。この牛は、年々良い子牛をうみ、子から  
まご 孫へと良牛の質が受けつがれていきました。おじろ 小代谷の牛はみな長命で、  
良牛をうみつづけました。世の中の人はこの牛の系統を「周助蔓」と名  
付けました。

そだ ざいさん せきひん まず  
名牛を育てることに財産をつぎこみ赤貧（貧し  
くて何もないうこと）のなかにやまい 病にたおれたしゅうすけ 周助は、  
75歳でなくなりました。

げんざい おじろうし づる おじろ  
現在、小代牛の一群を「アツタ蔓」（小代村熱田  
ゆらい に由来する）と言ひ、名牛田尻号で有名です。これ  
しゅうすけづる なが  
は周助蔓の流れをくむものです。



まえ だしゅうすけけんしょうひ おじろ  
前田周助顕彰碑（小代）

まえ だしゅうすけ おじろ  
前田周助さんは、小代のために、名牛を  
そだ 育てることに一生をささげたんだね。



たじまぶん かきょうかいはっこう たじまじんぶつものがたり いんりやう  
但馬文化協会発行「但馬人物物語」より引用



まるやましゅうぞう      ちょうひろし      こうさく      まえ だしゅうすけ  
 丸山修三さん，長熙さん・耕作さん，前田周助さん。  
 みんな地いきの自然や人びとを愛し，地いきの発展を  
 考えてがんばったんだね。



この他にも，地いきのために努力してこられた人びとの  
 ことを調べてみたいな。



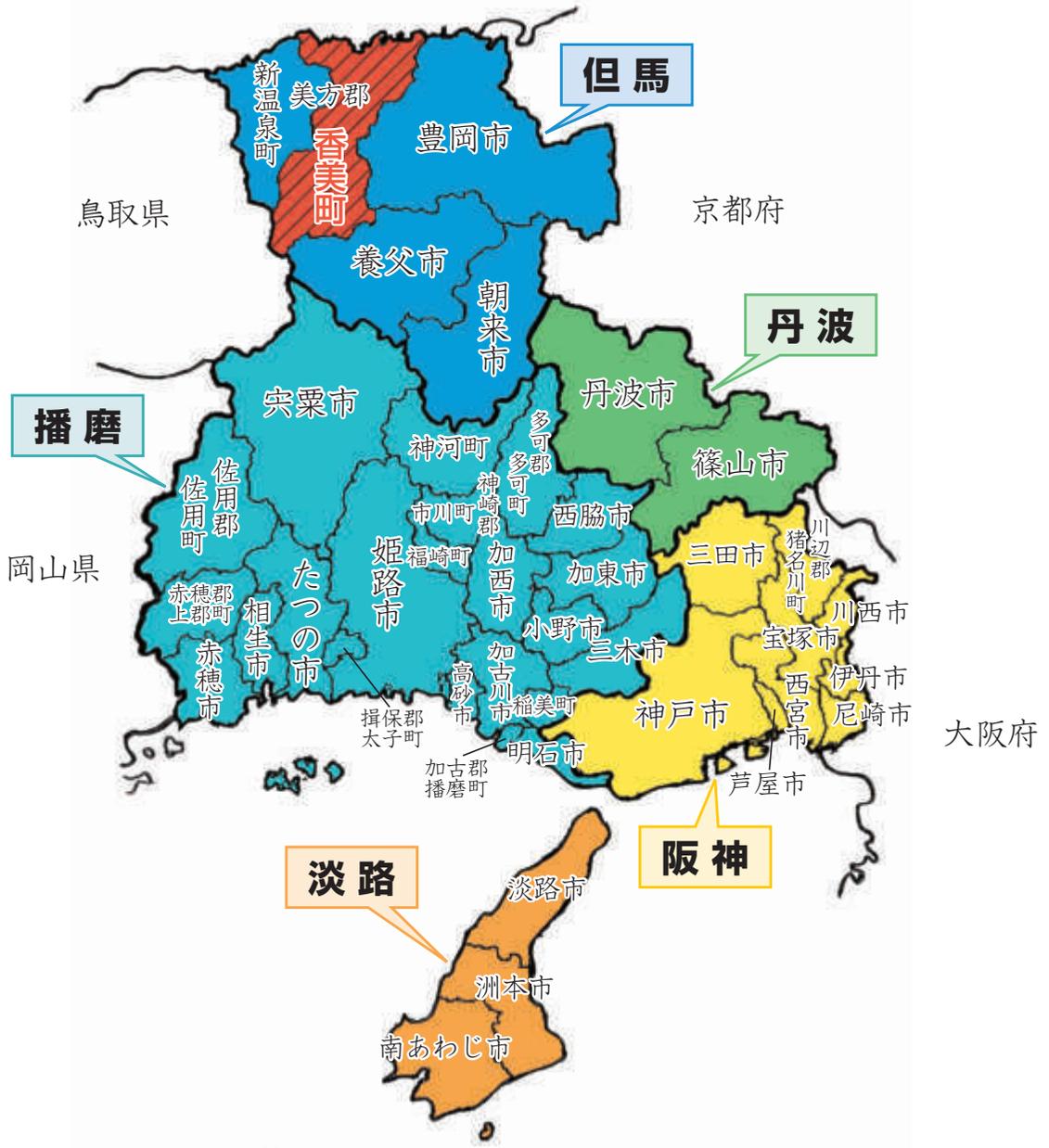
このような石碑がないかな。  
 手がかりになるよ。



# 7 わたしたちの住んでいる県

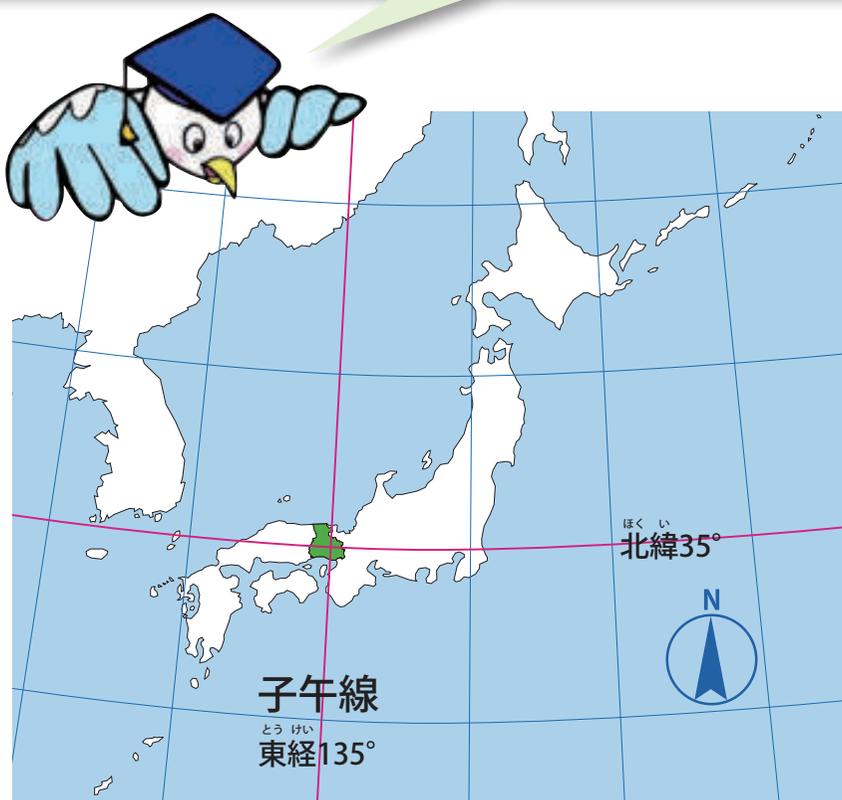
## (1) わたしたちの県のように

香美町のある兵庫県



## 兵庫県ひょうごけんのすがた

兵庫県ひょうごけんは北と南に海があつて、日本のほぼ真ん中にあるんだ。東は京きょう都府とふと大阪府おおさかふ、西は鳥取県とっとりけんと岡山県けんに接し、また徳島県けんとは大鳴門橋おおなるとぎょうでつながっているんだよ。それに、日本の時こくを決める東経とうけい135度の線・子午線しごせんが通っているよ。



兵庫県ひょうごけんの広さは、およそ8400平方キロメートルで、北は日本海、南は瀬戸内海せとないかいに面しています。そして、大きく分けて、阪神はんしん・播磨はりま・但馬たじま・丹波たんば・淡路あわじの五つの地域ちいきに分けられます。

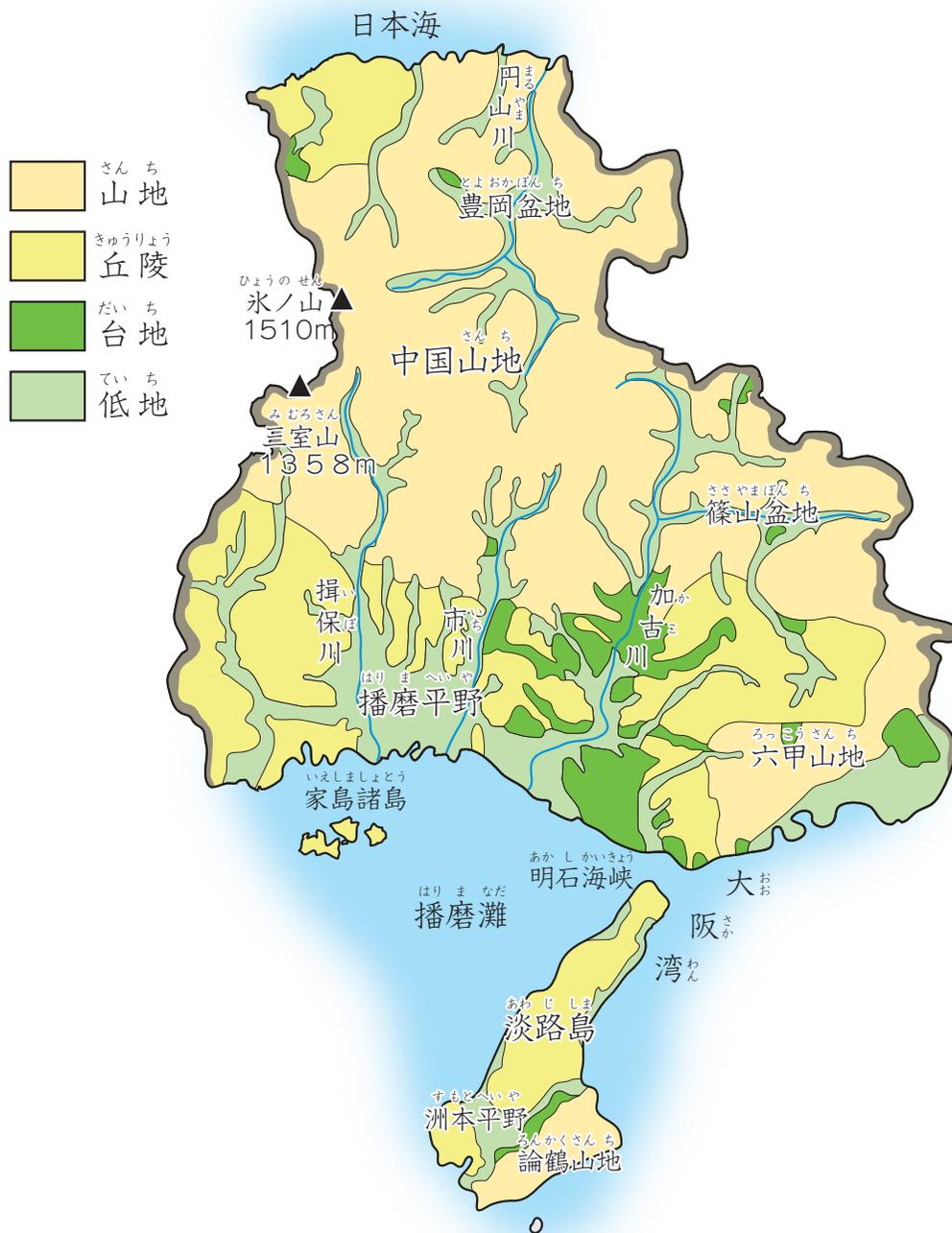
出典：兵庫県ひょうごけんホームページ「こどもの広場」

[http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kids\\_top.html](http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/kids_top.html)

## 土地のようす

ひょうごけん 兵庫県の主な山や川・盆地・平野など、土地のようすについて調べて

みよう。



# 人口と交通のようす

兵庫県の中で、人口の多い所や少ない所を調べてみよう。

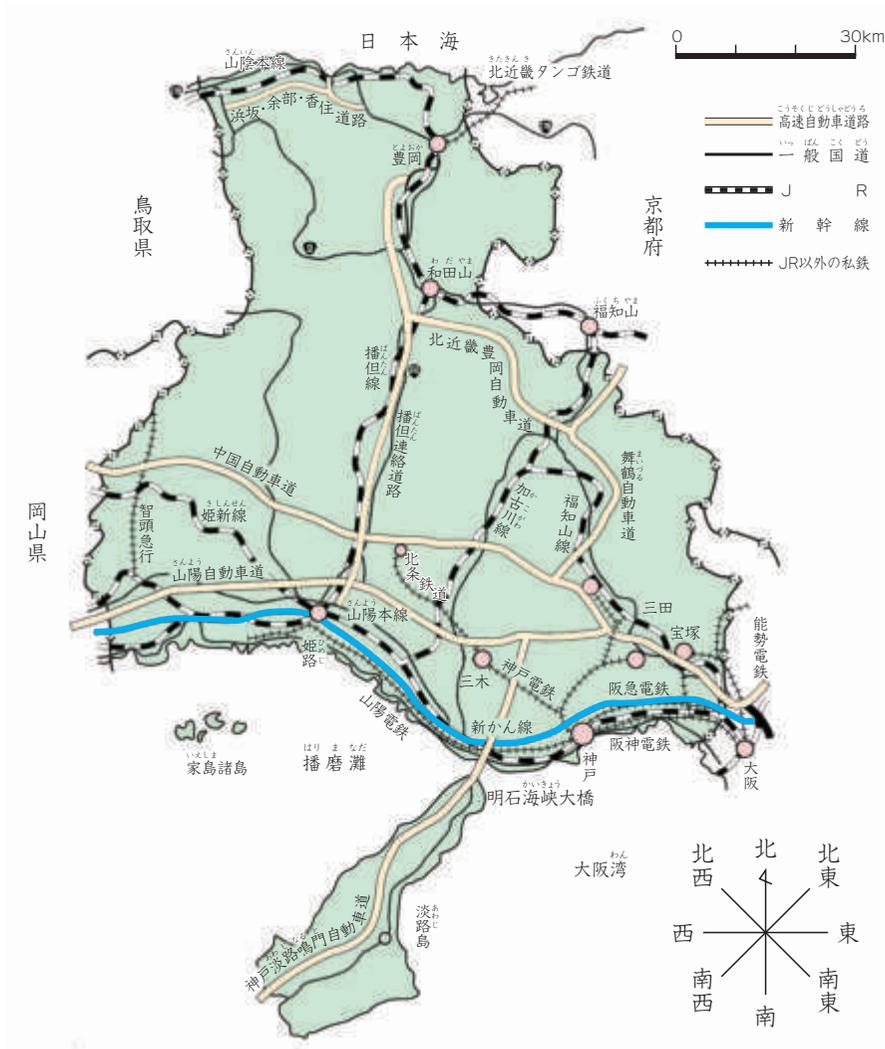
兵庫県には、およそ550万人（2017年10月1日現在）の人々がくらしています。



出典：兵庫県ホームページ「平成30年度 わたしたちの兵庫県」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/wataken.html>

ひょうごけん こうつう しら  
 兵庫県の交通について調べてみよう。



人口分布と交通の地図を見て、気がつくことはありませんか。

人口と交通の間には、何か関係がありそうですね。



## (2) わたしたちの県の自然や産業と人々の暮らし

兵庫県ひょうごけんの各地域かくちいきの自然や産業と人々の暮らししぜん さんぎょうとのかかわりについて調べてみよう。



### 阪神地域

阪神地域はんしんちいきは、阪神工業地帯はんしんちたいとして古くからさかえてきました。

神戸こうべのケミカルシューズ、「灘なだの清酒せいしゅ」は生産量せいさんりょう日本一にっぽんいちです。造船ぞうせん、鉄てつ、機械きかいの製造せいぞうも盛んさかです。また、平地へいちや海うみを利用して鉄道てつどうや道路どうろ、港みなとや空港くうこうなど交通こうつうが発達はったつし、人口しゅうが集中けんちゅうしています。県庁けんちようのある神戸市こうべけんは県の政治せいじや文化ぶんかの中心ちゆうしんとなっています。



### 播磨地域

播磨地域はりまちいきは、たくさんの川やため池、播磨平野はりまへいやを利用した工業

や農業のうぎようが盛んさかです。生産量せいさんりょう日本一のそろばん、つり針はり、そうめんなどの伝統産業でんとうさんぎようのほか、機械きかいや鉄てつの製造せいぞうも盛んさかです。播磨平野はりまへいやの北部ほくぶは、お酒さけの原料げんりようとなる山田錦やまだにしき（酒米さかまい）の産地さんちとして有名ゆうめいです。また、姫路城ひめじじようは世界文化遺産せかいぶんかに登録とうろくされています。



### 但馬地域

但馬地域たじまちいきは、海や山、温泉おんせんなど、豊かな自然ゆたかしぜんを利用した産業りようさんぎように

力ちからを入れています。松葉ガニまつばやイカいかつりなどの漁業ぎよぎよう、温泉おんせんやスキーなどの観光業かんこうぎようが盛んさかで、但馬牛たじまうしの産地さんちとしても有名ゆうめいです。また豊岡とよおかは、伝統工芸でんとうこうげいである杞柳細工きりゅうざいくをもとに発達はったつしたかばん作り、コウノトリの生息地せいそくちとして全国ぜんこくに知られています。



## 丹波地域

丹波地域は、まわりを山々に囲まれ、農業や林業が盛んです。

中でも昼と夜の気温差が大きい盆地で育った丹波栗や黒大豆、大納言小豆、丹波やまいもなどの特産物が全国的に有名です。また、篠山には城跡や古い町なみが残り、丹波立杭焼とともに歴史と伝統文化が大切に受けつがれています。



## 淡路地域

淡路地域は、温暖な気候を生かした農業に力を入れています。

南部では、たまねぎやレタスなどの野菜作り、北部では、菊やカーネーションなどの花作りが盛んです。酪農では、牛乳の生産量が近畿地方で第1位です。また、生産量日本一の線香のほか、瓦の生産やイカナゴ漁でもよく知られています。

(生産量は2018年度の統計による)

それぞれの地域の中から、調べてみたい事がらをえらび、図書室の資料やインターネットなどを利用して、くわしく調べてみましょう。

### 調べるポイント



- なぜ、さかんになったのか。
- どのようにして作られているのか。
- どのように自然を利用しているのか。
- 働く人は、どのようにくふうや努力をしているのか。

けん けん けん  
 県内でのんとうこうぎょう  
 県内の伝統工業



ひょうごけん ひょうごけん ひょうごけん  
 出典：兵庫県ホームページ「平成30年度 わたしたちの兵庫県」

<https://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/wataken.html>

### (3) 人やものでつながるわたしたちの県<sup>けん</sup>

ひょうごけん たちいき  
兵庫県と国内の他地域や外国との  
しら  
つながりを調べてみよう。

ひょうごけん てつどう こうそくどうろ くうこう かくち  
兵庫県は、鉄道や高速道路、空港で日本各地とつながっているだけでなく、  
こうべこう いたみ おおさかこくさいくうこう せかい  
神戸港や伊丹市の大阪国際空港で世界の国々ともむすばれています。そのため、  
けん けん  
県では、外国との行き来をさかんにし、さらにつながりを深めようと努  
りよく  
力しています。

ひょうごけん こうりゅう  
兵庫県が交流を深めている国には、アメリカ・中国・ロシア・オーストラ  
リア・ブラジルなどがあり、けいざい ぶんか  
経済や文化を中心に交流を進めています。

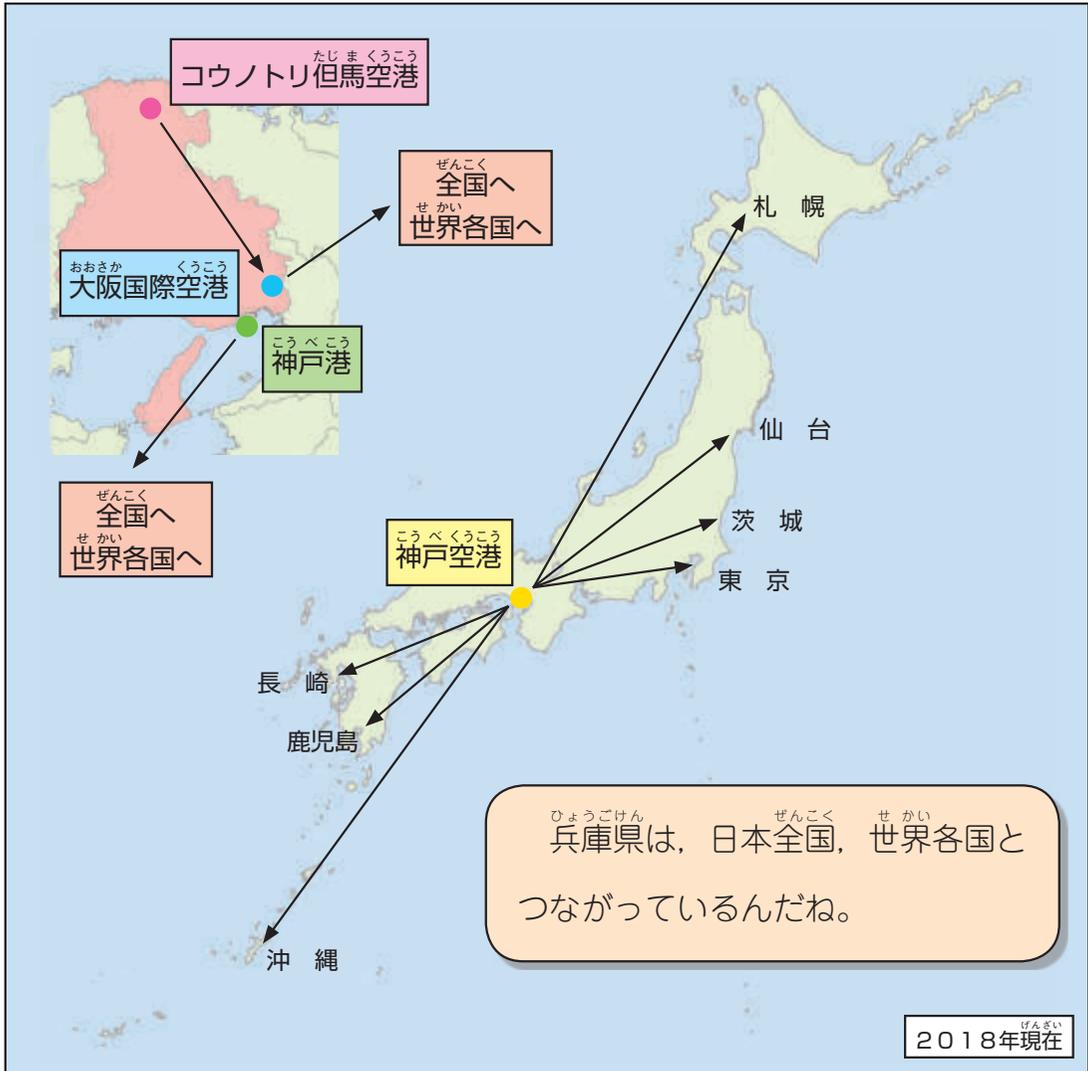
かみ  
また、香美町では、ALTとして、アメリカやオーストラリアの先生をま  
ねいて、小学校や中学校で英語の授業を進めています。

これからも、いろいろな方面での交流が期待されています。





くうこう みなと ほか ちいき  
空港や港は、他の地域とどのように  
つながっているのだろう。



ひょうごけん ぜんこく せかい  
兵庫県は、日本全国、世界各国と  
つながっているんだね。

1994年5月にコウノトリ但馬空港、2006年2月に神戸空港が開港  
しました。兵庫県と日本各地や外国とつながりは、ますますさかんになって  
きています。これから、さらに交流を深めていくには、どのようなことがた  
いせつなのか考えてみましょう。

## あ と が き

2016年から3年間かけて、小学校の3・4年生のみなさんに分かりやすい本になるように、編集作業を進めてきました。みなさんが、香美町の歴史や文化・産業やくらしなどを学習するときに、どうぞ役立てていただきたいと思います。

編集にあたっては、町内の多くの方々からお話を聞かせていただき、快く資料を提供していただきました。ありがとうございました。

みなさんにとってふるさとは、今であり、未来です。この本を大いに活用し、わたしたちのまち香美町をますます好きになってください。そして、未来のふるさを創ってください。この副読本「わたしたちのまち 香美町」で学ぶみなさんに期待しています。

### 編集委員

石井 一彦	皆木 孝之	立脇 真澄	西谷 雅志
山田 裕美	松本恵美子	本田 大策	谷田 浩彦
井上 真紀	白尾 嘉啓	今井 元子	青木 伸也
尾崎 真樹	西村 直美	片山 眞理	

### わたしたちのまち 香美町

平成31年3月発行

編集	香美町教育研修所 小学校社会科副読本編集委員会
発行	香美町教育委員会
印刷	(有) たら川美術印刷